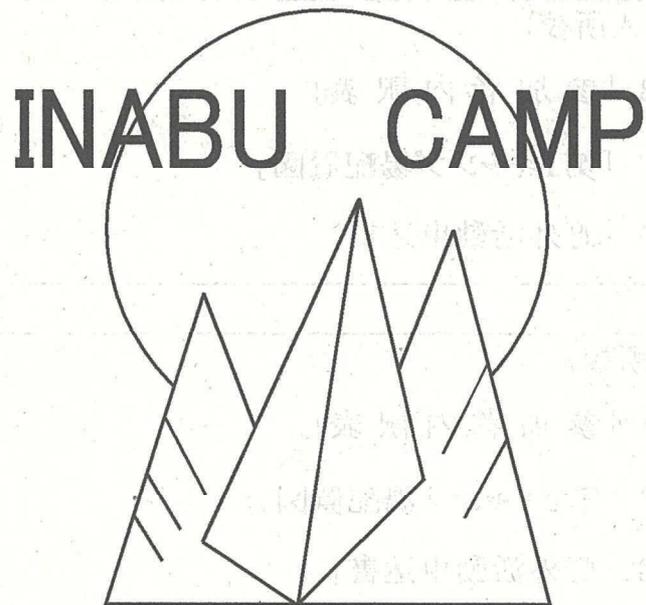
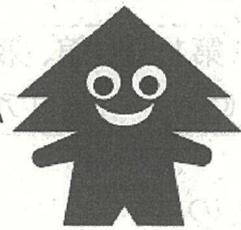


令和7年度

稲武野外教育センター 利用の手引き



NAGOYA



名古屋市稲武野外教育センター
(公財)名古屋市教育スポーツ協会野外教育課

令和7年度 変更点・下見・確認事項・提出書類等 目次

1 センターの概要	P1
2 これまでの主な変更点	P1
(1) 令和元年度以降の主な変更点	P1
(2) 令和4・5年度(1泊2日)との主な変更点	P2
(3) 令和7年度に向けた変更点	P2
3 下見について	P3
☆ シートA:「下見申込書」	P4
4 「入所前の確認事項」について	P5
【提出書類】	
〈第1・3本館入所校〉	
◇ シートB:「参加者内訳表」	P6
◇ シートC:「第1キャンプ場配置図」	P7
◇ シートD:「野外活動申込書」	P8
《第2本館入所校》	
◆ シートE:「参加者内訳表」	P9
◆ シートF:「第2キャンプ場配置図」	P10
◆ シートG:「野外活動申込書」	P11
<第1・3本館、第2本館入所校共通>	
◎ シートH:「アレルギー対応献立調査票」	P12
○ その他	
☆ シートI:「学校利用可能備品一覧表」	P13
☆ 「実践編」	P14～

1 センターの概要

- (1) 名称 名古屋市稲武野外教育センター
- (2) 所在地 〒441-2513 豊田市稲武町井山1番地19
- (3) 位置
- ・ 標高約860m
 - ・ 名古屋市役所から約80km
 - ・ 稲武交差点から約8km
- (4) 連絡先 第1本館 IP:644-161・053 Tel:0565-82-2250
第2本館 IP:644-162 Tel:0565-82-2112
FAX: 0565-82-3586 ※第1本館のみ
メールアドレス:a0536822250@kyoiku.city.nagoya.lg.jp
- (5) 入所期間 令和7年4月21日(月)～11月12日(水) 全校2泊3日
※ 学校閉庁日は入所無し
※ 気象状況、道路の状況等により入所できない場合は予備日に延期

2 これまでの主な変更点

※ 変更・追加事項があります。確実にご確認ください。

(1) 令和元年度以降の主な変更点

<館内生活>

- 本館入館時刻は、1日目15:00以降。本館退館時刻は、最終日13:00までとします。
- 生徒が使う館内生活用の履き物は、学校から持参してください。
- 入所中、発熱した生徒は、医療機関への搬送ができません。別室で待機させ、保護者による迎え、タクシーでの搬送等の対応をお願いします。

<食事について>

- 朝食の準備開始は、7:00からとします。(15分遅くなりました)
- 2日目の夕食は、16:30までには準備を開始してください。後片付けは18:00までに完了してください。
- 食事後、椅子は、使わなかったものも含め食卓の上にあけてください。

<野外活動について>

- キャンプファイヤー時に学校へ貸し出す灯油ポリタンクを1缶(8L)にしました。
- トーチトワリングでの着火したトーチ使用は禁止。ケミカルライト等を使用してください。
- トイレとして、「面ノ木休憩所」「井山展望台付近」が利用できます。

<施設・設備・その他について>

- 第2本館事務室にAEDを設置。第2本館入所校は設置場所を確認してください。
- 第2本館(1、2階)のトイレを和式便器1基残し、洋式にしました。
- 第2・3本館(教官室)のトイレを洋式にしました。
- キャンプ場のかまどを、すべてレンガ造りに改修しました。
- 第1・2キャンプ場トイレ、第1・3本館トイレが一部を残しほぼ洋式となりました。
- 夜食(全期間じゃがいも)、魚つかみの魚・塩、餅つきの代金に変更されました。(要確認)
- 関係書類の送付時に同封するしおりの冊数が、4冊になりました。

- 台風等により延泊をした場合、延泊した分の食費は参加費に追加して徴収します。
- 教官室の冷蔵庫は老朽化により撤去。第1本館は打合せ室、第2本館は会議室のものを使用してください。併せて給茶用具として、ポット2台と湯飲み(人数分)を打合せ室・会議室に準備しますので適宜ご利用ください。
- 第1本館、第2本館共に食堂は終日施設しません。必要に応じて給茶してください。

(2) 令和4・5年度(1泊2日)との主な変更点

- 関係書類を、出発日の8日前必着で、センターに郵送してください。
- 野外炊事を、全校が入所日(変更不可)に行います。食器等の学校持参可。
- 宿泊室定員を20人に戻します。入浴人数の制限もありません。
- 2日目の弁当は、11:00以降に活動場所(1か所)まで運びます。おやつ(氷砂糖・五平餅)も実施します。氷砂糖はハイキング時、五平餅はセンター敷地内で喫食します。
- 井山展望台付近にトイレができました。B短縮コースも復活しました。
- 餅つきが実施可能になりました。

(3) 令和7年度に向けた変更点

- 夏季期間中のテント泊は令和7年度以降実施しません。
- 米飯の量が変更になりました。(一人当たり3号食は130g、他は120g)
- 生徒宿泊室の寝具に、シーツ・枕カバー・毛布カバーは付けません。枕カバーの代わりに、生徒各自でタオルを持参してください。
- 「紙すき、焼杉、竹とんぼ、創作クラフト(ネームプレート・小型額縁)、まゆ細工」は、令和7年度以降実施しません。
- モデルプランⅠ～Ⅳ、「ハイキングの実施例」を掲載しました。

3 「下見」について

〈 下見の手順 〉

① 日程の確認: 「下見可能日一覧」で確認。(事前連絡の無い下見は不可)

※ ☆印の日を希望する際は、必ず事前にセンターに確認する。

※ △印の日は、入所校対応のため、時間帯に制約が出る場合あり。

② 希望日の1週間前までに「下見申込書(シートA)」に必要事項を記入しFAX送信。

FAX番号 0565-82-3586

③ FAX到着後、受け入れの可否等をセンターから連絡。

【第1本館:副所長、第2本館:所長から連絡】

④ 三日間の活動の流れが分かるもの(日程表等)を持参して来所。

※入退所式での校歌伴奏(CD)や、キャンプファイヤー音源の動作確認、活動場所の状態・設備、移動経路(動線)の確認等を丁寧に行っておくとよい。

《令和7年度 下見可能日一覧》

※ 2月時点の予定です。会議等の事情により変更することがあります。

3月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
						x
2	3	4	5	6	7	8
x	☆	☆	☆	☆	☆	x
9	10	11	12	13	14	15
x	☆	☆	☆	☆	☆	x
16	17	18	19	20	21	22
x	☆	☆	☆	x	☆	x
23	24	25	26	27	28	29
x	☆	☆	☆	☆	☆	x
30	31					
x	☆					

4月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
		☆	☆	☆	☆	x
6	7	8	9	10	11	12
x	☆	☆	☆	☆	☆	x
13	14	15	16	17	18	19
x	○	○	○	○	○	x
20	21	22	23	24	25	26
x	x	○	x	○	△	x
27	28	29	30			
x	x	x	x			

5月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
				○	△	x
4	5	6	7	8	9	10
x	x	x	△	○	△	x
11	12	13	14	15	16	17
x	△	○	x	○	△	x
18	19	20	21	22	23	24
x	△	○	x	○	△	x
25	26	27	28	29	30	31
x	△	○	x	○	△	x

6月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
x	△	○	x	○	△	x
8	9	10	11	12	13	14
x	△	○	x	○	△	x
15	16	17	18	19	20	21
x	△	○	x	○	△	x
22	23	24	25	26	27	28
x	△	○	x	○	△	x
29	30					
x	△					

7月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
		○	x	○	△	x
6	7	8	9	10	11	12
x	△	○	x	○	△	x
13	14	15	16	17	18	19
x	x	x	x	x	x	x
20	21	22	23	24	25	26
x	x	○	x	○	x	x
27	28	29	30	31		
x	○	x	○	△		

8月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
					x	x
3	4	5	6	7	8	9
x	x	○	x	○	x	x
10	11	12	13	14	15	16
x	x	x	x	x	x	x
17	18	19	20	21	22	23
x	x	△	○	x	○	x
24	25	26	27	28	29	30
x	x	○	x	○	△	x
31						
x						

9月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
	x	△	○	x	△	x
7	8	9	10	11	12	13
x	△	○	x	○	△	x
14	15	16	17	18	19	20
x	x	○	x	○	△	x
21	22	23	24	25	26	27
x	△	x	x	○	△	x
28	29	30				
x	△	○				

10月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
			x	○	△	x
5	6	7	8	9	10	11
x	△	○	x	○	△	x
12	13	14	15	16	17	18
x	x	○	x	○	△	x
19	20	21	22	23	24	25
x	△	○	x	○	△	x
26	27	28	29	30	31	
x	△	○	x	○	△	

※ 同日に下見が集中した場合は、複数校同時に説明し、その前後で個別対応になる場合があります。

令和7年度 下見申込書

利用本館
第1・3本館

下見を実施する1週間前までに、この用紙をFAXでセンターまで送付してください。

名古屋市稲武野外教育センター **FAX: 0565-82-3586**

IP電話:<第1本館>644-161-053 <第2本館>644-162

TEL:<第1本館>0565-82-2250 <第2本館>0565-82-2112

名古屋市立〇〇〇中学校

センター利用日 = 月 日 ~ 月 日

下見希望月日・来所予定時刻⇒

月 日(曜) 午前・午後 時 分

下見の代表者名

下見人数 名

IP電話番号 71-
電話番号052-

通常学級数 ()

生徒数 名

特別支援学級数 ()

生徒数 名

↓ 下見する場所を全て○で囲む

本館

第1本館

第3本館

第2本館

キャンプ場

第1キャンプ場

第2キャンプ場

ファイヤー場所等

水の広場

杉の子広場

多目的ホール

野外活動場所等

工房1

工房2

工房3

多目的室

集会室

魚つかみ・魚釣り場所

水の広場上・下流

せせらぎ広場上・下流

ハイキング等

A・OLコース B・OLコース Bコース 林間コース 面ノ木園地 井山展望台

A・OLポイント4 A・OLポイント5 B・OLポイント3 Bコース分岐点 B短縮コース

その他

肝試し予定コース

ナイトハイク予定コース

早朝ハイク予定コース

その他(センターへの問い合わせ事項)

※ 予定時刻に遅れる場合は、必ず連絡をお願いします。(厳守)

※ 下見は16時45分までに全て終了するように計画してください。

※ 三日間の活動の流れが分かるもの(日程表等)を持参して来所してください。

※ 車椅子・重篤なアレルギー等、**配慮を要する生徒**がいる場合はお知らせください。

4 「入所前の確認事項」について

(1) 「前後の入所校」「同時入所校」との事前連絡

※ 以下の事項や、学校間で必要と思われる調整を**確実に**行ってください。

- ① 前後の入所校: 「入退所時刻や場所」「荷物置き場」「本館入館経路・時刻」等
- ② 同時入所校: 「トイレ休憩時刻と場所」「多目的ホール利用日時と移動経路」「ハイキングコース」「学校独自の活動場所(範囲)」等

(2) 配車時刻について

	配車場所	配車時刻	出発時刻
往路	学校	8時40分	9時00分
復路	センター	12時40分	13時～13時30分

※ バスへの荷物の積み込みは、配車時刻以降とします。

※ 復路センター出発時刻は、13時～13時30分の間で学校が指定する時刻とします

※ トイレ休憩以外、バスの立ち寄りとは原則としてできません。**特に、復路は学校付近は、一箇所での下車のみとなります。**

(3) 参加費の納入について

- 野外活動終了後に、野外教育課から送られる通知書に従って納入してください。退所日に受け取る、「使用報告書」のコピーで参加人数等の確認をしてください。
- ※ 天候・道路状況等で延泊になった場合、延泊分の食費は参加費に追加して徴収します。ただし、「非常食」の場合は、追加徴収はありません。
- ※ 4月発出の「野外教育活動の参加費会計事務の手引き(野外教育課)」を参照してください。

(4) 提出書類について

以下の書類・印刷物を作成し、第1・3本館入所校、第2本館入所校共に、
『〒441-2513 豊田市稲武町井山1番地19 名古屋市稲武野外教育センター』まで
出発日の8日前必着で郵送(文書交換不可)してください。

全入所校	① 参加者内訳表(1部) —— 第1・3本館用(シートB) or 第2本館用(シートE)
	② キャンプ場配置図(1部) —— 第1キャンプ場用(シートC) or 第2キャンプ場用(シートF)
	③ 野外活動申込書(1部) —— 第1・3本館用(シートD) or 第2本館用(シートG)
	④ アレルギー対応献立調査票(シートH)(1部) ※ 該当者なしでも提出
	⑤ 学校作成の野外教育のしおり(4部)

該当校	⑥ 参加者名簿(1部) ※ しおりに掲載されている場合はそれを代用します。
	⑦ 早朝・ナイトハイク・肝試しコース図 (実施校のみ1部: 「実践編: シート①施設配置図」に記入)

※ 8日前が土・日・祝日、お盆期間等の場合は、**それ以前の平日に届くように発送してください。**該当する学校には、下見時に確認します。

※ 保護者・介助者・子ども応援委員等の参加者がいる場合、義務教育課との連絡や**必要書類の提出(FAX)**を忘れずに行ってください。

(5) その他

- 館内で使用する上履きやスリッパを各自で準備するようにしてください。
- バスの号車掲示は、山道での対向車等の安全面から逆番でお願いします。
- 1日目の昼食(持参弁当)と、1号食(野外炊事)との間隔を考慮して、昼食の分量を調整してください(残飯減量のため)。
- 入所式で校旗掲揚を行った学校は、入所式後、掲揚塔から校旗を外しておい

ください。

アノコニ「眞事監査の簡便人」

監査請求の「対面人」と「対面人の前」

※ 監査請求の「対面人」と「対面人の前」は、
 ① 監査請求の「対面人」と「対面人の前」は、
 ② 監査請求の「対面人」と「対面人の前」は、
 ③ 監査請求の「対面人」と「対面人の前」は、

アノコニ「監査請求」

監査請求の「対面人」と「対面人の前」	監査請求の「対面人」と「対面人の前」	監査請求の「対面人」と「対面人の前」	監査請求の「対面人」と「対面人の前」
1000円	1000円	1000円	1000円
1000円	1000円	1000円	1000円

※ 監査請求の「対面人」と「対面人の前」は、
 ※ 監査請求の「対面人」と「対面人の前」は、
 ※ 監査請求の「対面人」と「対面人の前」は、

アノコニ「人権の費用」

※ 監査請求の「対面人」と「対面人の前」は、
 ※ 監査請求の「対面人」と「対面人の前」は、
 ※ 監査請求の「対面人」と「対面人の前」は、
 ※ 監査請求の「対面人」と「対面人の前」は、

アノコニ「監査請求」

※ 監査請求の「対面人」と「対面人の前」は、
 ※ 監査請求の「対面人」と「対面人の前」は、
 ※ 監査請求の「対面人」と「対面人の前」は、

監査請求の「対面人」と「対面人の前」	監査請求の「対面人」と「対面人の前」	監査請求の「対面人」と「対面人の前」	監査請求の「対面人」と「対面人の前」
1000円	1000円	1000円	1000円
1000円	1000円	1000円	1000円

※ 監査請求の「対面人」と「対面人の前」は、
 ※ 監査請求の「対面人」と「対面人の前」は、
 ※ 監査請求の「対面人」と「対面人の前」は、

※ 監査請求の「対面人」と「対面人の前」は、
 ※ 監査請求の「対面人」と「対面人の前」は、
 ※ 監査請求の「対面人」と「対面人の前」は、

監査請求

※ 監査請求の「対面人」と「対面人の前」は、
 ※ 監査請求の「対面人」と「対面人の前」は、
 ※ 監査請求の「対面人」と「対面人の前」は、
 ※ 監査請求の「対面人」と「対面人の前」は、

参加者内訳表

【第1・3本館用】

学校名 〇〇〇中学校

令和7年度用

1 宿泊室部屋割

館	部屋	定員	学級	人数	
第1本館	1号室	20			
	2号室	20			
	3号室	20			
	4号室	20			
	5号室	20			
	6号室	20			
	7号室	20			
	8号室	20			
	9号室	20			
	10号室	20			
	計(生徒)				
	教官室1	4			
	教官室2	3			
	教官室3	4			
計(教員)					
第3本館	11号室	20			
	12号室	20			
	13号室	20			
	14号室	20			
	15号室	20			
	16号室	20			
	17号室	20			
	18号室	20			
	19号室	20			
	20号室	20			
	計(生徒)				
	教官室4	5			
	教官室5	5			
	計(教員)				

注意 第1・3本館入所校で5学級以下の場合、第1本館のみの入所となります。ただし、5学級で特別支援学級が別部屋になる場合や1学級の人数が部屋定員(20名)を超え、別部屋を利用し10部屋を超えて利用する場合は事前に相談してください。

2 食卓割

	使用卓	定員	学級	人数
第1本館食堂	教員卓	21	教員	
	1卓	42		
	2卓	42		
	3卓	42		
	4卓	42		
	5卓	42		
	6卓	42		
	7卓	42		
	8卓	42		
	9卓	42		
	合計			

※教員と特別支援学級生徒を一緒に用意する場合は「教員卓」欄に記入してください。

要保護生徒数： _____ 名

3 野外炊事班割(4または5班編成、6班×)

1班6～8名(教員等も含む)

学級	班	生徒数	教員数	小計	合計	
組						
組						
組						
組						
組						
組						
組						
合計						

4 貸出備品

備品名	貸出数
飯ごう	
※炊事道具	
カレー皿	
スプーン	
湯のみ	

飯ごうは3、4合炊きです。

※炊事道具内訳数は各班1ずつ	
なべ	おたま
包丁	まな板
しゃもじ	ポウル
やかん	火ばさみ

※カレー皿・スプーン・湯のみを学校から持参する場合は「0」を記入。

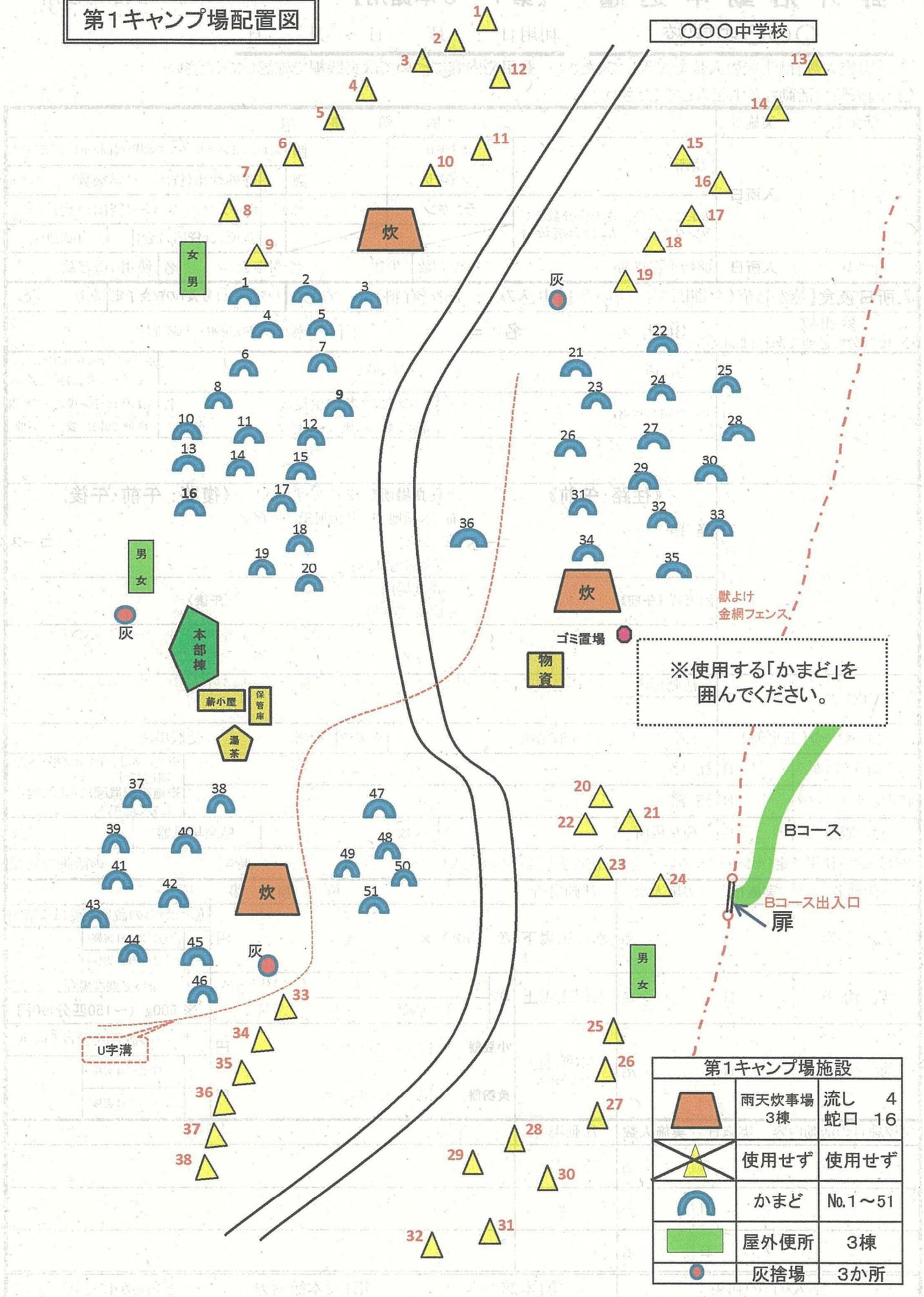
※食器用洗剤、粉のクレンザー(炊事場に各2本)、スポンジ、コゲ落とし用ナイロンたわし(各炊事場12個)はセンターで用意します。不足する場合はセンター職員にお知らせください。

3 野外炊事班割には、生徒班の中に教員も含めて記入をお願いします。

※本部棟内でのカレー・ご飯作りはできません。(ガスコンロなし)

第1キャンプ場配置図

〇〇〇中学校



野外活動申込書 【第1・3本館用】

令和7年度用

〇〇〇中学校

利用日： 月 日～月 日

- 「実施人数」は生徒の人数で記入してください。費用や内容については実践編で確認してください。
- 雨天時の活動も必ず記入してください。

活動名	実施日	依頼事項					
火起こし	入所日	場所	ユミギリ	個	火おこし後のランタンの利用場面の前に○印記入		
			マイギリ	個	野外炊事(貸出：～学級数)		
		火おこし道具の貸出合計数及びランタン数は、最大学級数分	ランタン	台	キャンプファイヤー(貸出：1台) 退所式(貸出：1台) 利用無し		
野外炊事	入所日	開始予定時刻	参加人数	生徒	名 引率者	名 使用かまど数	
入所日夜食【蒸かし芋(全期間 じゃがいも)】申込み：あり(有料)・なし				「バナナ」(1号食)の夜食予定			あり・なし
参加数		30円 ×		名 =		円	蒸かし芋の説明・準備時刻
※ 教員分も必要であれば加える							
キャンプファイヤー	日	場所	(雨天時)		※ トーチ棒以外の方法による 点火が有る場合のみ記入		
		井げた組み時刻	トワリング参加生徒数		名 薬品代：公費・現金・不使用		
			教員参加 無・有 (名)		砂糖(20円) 要・不要		
ドッジボール、ラインカー等の備品を利用する場合は、P13「学校利用可能備品一覧表」を参照して品名・個数を記入							
ハイキング	日	経路	《往路：午前》	《昼食場所》 ※下のいずれかに○		《復路：午前・午後》	
		コース		面ノ木園地・井山展望・食堂 その他()		コース	
				受取希望時刻			
		雨天時	《午前》	昼食場所	《午後》		
				受取希望時刻			
ホール、多目的室等を使用する際に、備品を利用する場合は、P13「学校利用可能備品一覧表」を参照して品名・個数を記入							
室内レク	日	活動場所	備品を利用する場合は、P13「学校利用可能備品一覧表」参照して品名・個数を記入				
おやつ(五平餅)	時刻	受取場所		雨天時	時刻	受取場所	
早朝ハイキング	日	経路	→	→	→	※コースは、キャンプ場・本館 周辺です。	
肝試し・ナイトハイク	日	経路	→	→	→	※施設配置図に示して提出 してください。	
星の観察	日	観察場所	人数		名		星座早見盤
プロジェクト使用予定(センターのプロジェクトを使用する場合のみ記入)		日		時頃		の活動で使用	
活動名	実施日	実施人数	活動場所	依頼事項			
魚つかみ	日	名	水の広場下	魚	250円 ×	匹 =	円
				魚つかみの説明を受ける時間			
魚釣り	日	名	水の広場上	竿	() 不要	() リリース	塩(g)：必要な場合のみ記入
				() 必要(本)	() 焼く	※ 500g (～150匹分)60円	
餅つき	日	名	本館前 ピロティ	小豆餅	白 ×2,500円 =	円	
				黄粉餅	白 ×2,300円 =	円	
				餅つきの説明を受ける時間			
学校独自の活動内容	実施日	実施人数	活動場所	備品を利用する場合は、P13「学校利用可能備品一覧表」参照して品名・個数を記入			
				日	名		
				日	名		
出入口の利用	第1本館のみ		第1・3本館両方		← どちらかに○印		

参加者内訳表

【第2本館用】

学校名

中学校

令和7年度用

1 宿泊室部屋割

3 野外炊事班割(4または5班編成、6班×)

4 貸出備品

1班6～8名(教員等も含む)

館	部屋	定員	学級	人数	
第2本館	1号室	20			
	2号室	20			
	3号室	20			
	4号室	20			
	5号室	20			
	6号室	20			
	7号室	20			
	8号室	20			
	9号室	20			
	10号室	20			
	計(生徒)				
	教官室1	5			
	教官室2	5			
	会議室				
計(教員)					

学級	班	生徒数	教員数	小計	合計
組					
組					
組					
合計					

備品名	貸出数
飯ごう	
※炊事道具	
カレー皿	
スプーン	
湯のみ	

飯ごうは3、4合炊きです。

※炊事道具内訳	
数は各班各1ずつ	
なべ	おたま
包丁	まな板
しゃもじ	ボウル
やかん	火ばさみ

※カレー皿・スプーン・湯のみを学校から持参する場合は「0」を記入。

※食器用洗剤、粉のクレンザー(炊事場に各2本)、スポンジ、コゲ落とし用ナイロンたわし(各炊事場12個)はセンターで用意します。不足する場合はセンター職員にお知らせください。

3 野外炊事班割には、生徒班の中に教員も含めて記入をお願いします。

※本部棟内でのカレー・ご飯作りはできません。(ガスコンロなし)

2 食卓割

	使用卓	定員	学級	人数	
第2本館食堂	教員卓	12	教員		
	1卓	20			
	2卓	20			
	3卓	20			
	4卓	20			
	5卓	20			
	6卓	20			
	7卓	20			
	8卓	20			
	9卓	20			
	10卓	20			
	合計				

※教員と特別支援学級生徒を一緒に用意する場合は「教員卓」欄に記入してください。

要保護生徒数： _____ 名

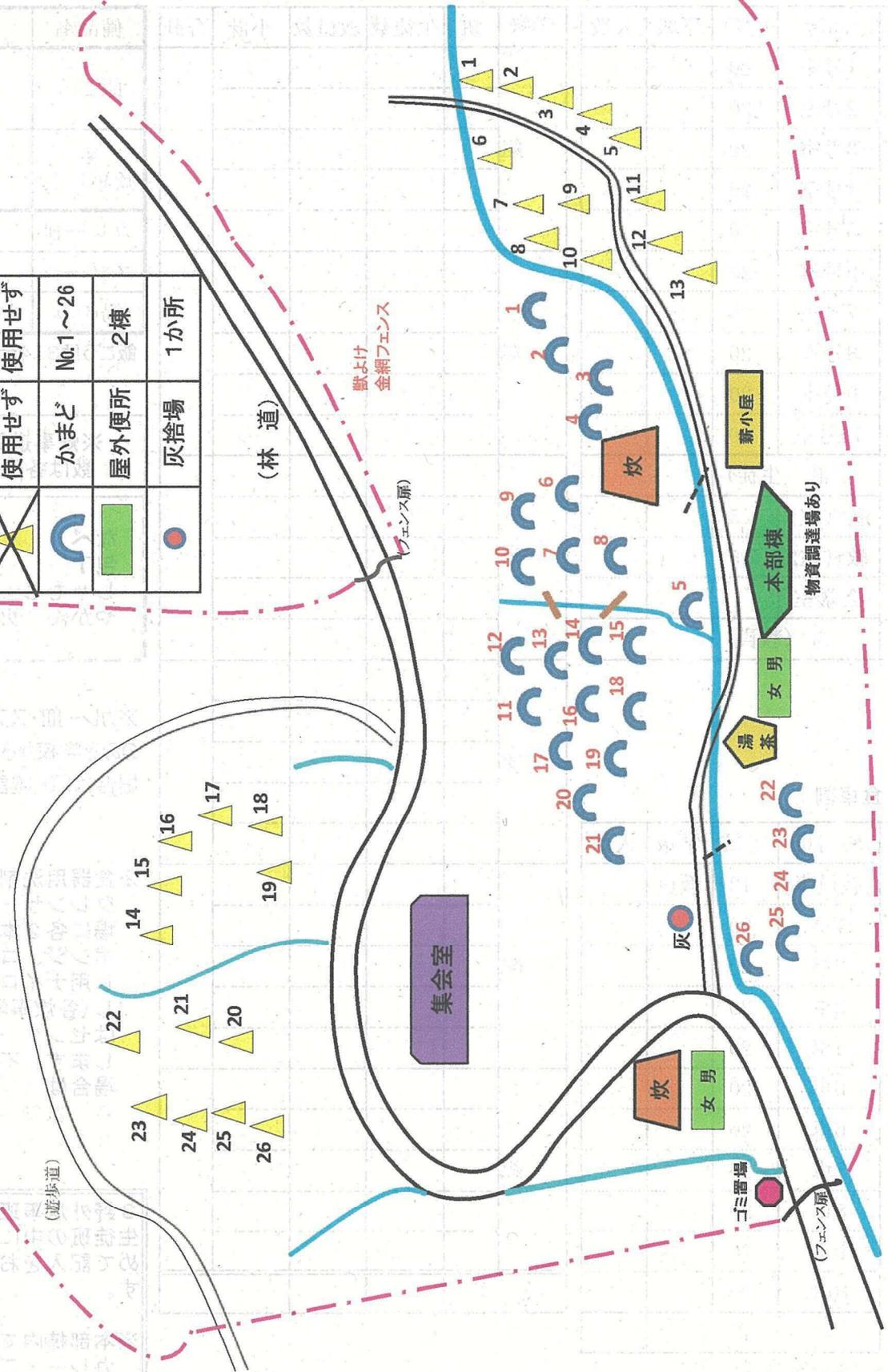
令和7年度用

中学校

第2キャンプ場施設	
	雨天炊事場 2棟
	流し 蛇口 12
	使用せず
	かまど No.1~26
	屋外便所 2棟
	灰捨場 1か所

※使用する「かまど」を
囲んでください。

第2キャンプ場配置図



野外活動申込書 【第1・3本館用】

令和7年度用

〇〇〇中学校

利用日： 月 日～月 日

○「実施人数」は生徒の人数で記入してください。費用や内容については実践編で確認してください。

○雨天時の活動も必ず記入してください。

活動名	実施日	依 頼 事 項			
火起こし	入所日	場所	ユミギリ	個	火おこし後のランタンの利用場面の前に○印記入
		火おこし道具の貸出合計数及びランタン数は、最大学級数分	マイギリ	個	野外炊事(貸出：～学級数)
			ランタン	台	キャンプファイヤー(貸出：1台)
					退所式(貸出：1台) 利用無し
野外炊事	入所日	開始予定時刻	:	参加人数	生徒 名 引率者 名 使用かまど数
入所日夜食【蒸かし芋(全期間 じゃがいも)】申込み：あり<有料>・なし				「バナナ」(1号食)の夜食予定 あり・なし	
参加数		30円 × 名 = 円		蒸かし芋の説明・準備時刻 :	
※ 教員分も必要であれば加える					
キャンプファイヤー	日	場所	(雨天時)	※ トーチ棒以外の方法による 点火がある場合のみ記入	
		日 井げた組み時刻	:	トフリング参加生徒数	名 薬品代:公費・現金・不使用
				教員参加 無・有 (名)	砂糖(20円) 要・不要
ドッジボール、ラインカー等の備品を利用する場合は、P13「学校利用可能備品一覧表」を参照して品名・個数を記入					
ハイキング	日	経路	《往路:午前》	《昼食場所》 ※下のいずれかに○	《復路:午前・午後》
		コース	面ノ木園地・井山展望・食堂 その他()		コース
				受取希望時刻	:
		雨天時《午前》	昼食場所		《午後》
			受取希望時刻	:	
ホール、多目的室等を使用する際に、備品を利用する場合は、P13「学校利用可能備品一覧表」を参照して品名・個数を記入					
室内レク	日	活動場所	備品を利用する場合は、P13「学校利用可能備品一覧表」参照して品名・個数を記入		
おやつ(五平餅)	時刻	受取場所	雨天時	時刻	受取場所
早朝ハイキング	日	経路	→	→	→
肝試し・ナイトハイク	日	経路	→	→	→
※コースは、キャンプ場・本館 周辺です。 ※施設配置図に示して提出 してください。					
星の観察	日	観察場所	人数	名	星座早見盤 枚
プロジェクタ使用予定(センターのプロジェクタを使用する場合のみ記入) 日 時頃 の活動で使用					
活動名	実施日	実施人数	活動場所	依 頼 事 項	
魚つかみ	日	名	せせらぎ広場下	魚 250円 × 匹 = 円	魚つかみの説明を受ける時間
					1日目(2日目実施) :
					2日目(3日目実施)
魚釣り	日	名	せせらぎ広場上	竿 () 不要 () リリース () 必要<本> () 焼く	塩(g):必要な場合のみ記入
					※ 500g (~150匹分)60円
餅つき	日	名	本館前 ピロティ	小豆餅 臼 ×2,500円 = 円 黄粉餅 臼 ×2,300円 = 円	餅つきの説明を受ける時間
					1日目(2日目実施) :
					2日目(3日目実施)
学校独自の活動内容 実施日 実施人数 活動場所 備品を利用する場合は、P13「学校利用可能備品一覧表」参照して品名・個数を記入					
	日	名			
	日	名			
	日	名			

実践編

日本語

英語

漢字

ローマ字

読み方

意味

例文

日本語

英語

漢字

ローマ字

読み方

意味

例文

令和7年度 実践編 目次

- モデルプランについて (P16・17)
- ハイキングの実施例 (P18)
- 学校独自の活動例 (P19・20)
- 入・退所について (P21～23)
- センター利用について (P24・25)
- 不測の事態発生に対する安全対策について (P26)
- 避難経路図〈1～4〉 (P27～30)
- 給食について (P31～34)
- 献立表 (P35)
- 献立内訳票 (P36・37)
- 保健関係 (P38・39)
- 火起こし (P40)
- 野外炊事の進め方 (P41～44)
- 野外炊事の活動例 (P45～46)
- 野外炊事備品点検表 (P47)
- キャンプファイヤー確認内容 (P48・49)
- ハイキング出発時確認内容 (P50・51)
- ハイキングコース見取り図 (P52)
- 魚つかみ(魚焼き)・魚つり・星の観察について (P53・54)
- 魚釣りの仕かけ (P55)
- 餅つきについて (P56・57)
- ◆ 施設配置図 (P58)
- ◆ 施設配置と活動場所 (P59)
- ◆ 第1・3本館館内図 (P60)
- ◆ 第2本館館内図 (P61)
- ◆ 各施設平面図 (P62・63)
- ◆ 第1・3本館食卓配置図 (P64)
- ◆ 第2本館食卓配置図 (P65)
- ◆ 気象データ〈過去10年の平均〉 (P66)
- ◆ センター案内図 (P67)
- ☆ 義務教育課発出非常事態発生時の対応 (P68～70)

シート①:施設図

シート②:施設配置と活動場所

シート③:第1・3館内図

シート④:第2館内図

シート⑤:各施設平面図

シート⑥:第1・3食卓配置図

シート⑦:第2食卓配置図

シート⑧:気象データ

シート⑨:センター案内図

シート⑩:義務教育課発出文書

《モデルプランについて》

従来の「1日目野外炊事」「2日目ハイキング」「1日目又は2日目の夜キャンプファイヤー」というプログラム以外に、以下のような**モデルプランⅡ～Ⅳ**を提示します。
 日程作成に際し、入所時期の天候、生徒の主体性を発揮させる学校独自の活動の充実(P19・20参照)、学校の実態等に応じて参考にしてください。
 なお、「野外炊事」は、従来通り1日目実施となります。

◎ モデルプランⅠ (従来のプラン) ☆は学校裁量

第1日	第2日	第3日
○入所 ↓ ○入所式 ↓ ☆火起こし ○昼食 ↓ ○野外炊事 ↓ ○本館入館・入浴 ↓ ☆キャンプファイヤー ☆ナイトレク ☆ナイトハイク等 ※同時入所校と調整が必要	○朝食 ↓ ☆ハイキング往路(午前) ↓ ○昼食(☆場所) ↓ ☆ハイキング復路(午後) ※同時入所校と調整が必要 ↓ ○おやつ(☆場所) ↓ ○本館入館・入浴 ↓ ○夕食 ↓ ☆キャンプファイヤー ☆ナイトレク ☆ナイトハイク等 ※同時入所校と調整が必要	○朝食 ↓ ☆魚つかみ ☆学校独自の活動等 ↓ ○昼食 ↓ ○退所式 ↓ ○退所

◎ モデルプランⅡ (2日目の午前中でハイキングを終了するプラン) ☆は学校裁量

第1日	第2日	第3日
○入所 ↓ ○入所式 ↓ ☆火起こし ○昼食 ↓ ○野外炊事 ↓ ○本館入館・入浴 ↓ ☆キャンプファイヤー ☆ナイトレク ☆ナイトハイク等 ※同時入所校と調整が必要	○朝食 ↓ ☆ハイキング往路(午前) ↓ ☆ハイキング復路(午前) ※同時入所校と調整が必要 ↓ ○昼食(☆場所) ↓ ☆川遊び(魚つかみ可) ☆学校独自の活動等 ↓ ○おやつ(☆場所) ↓ ○本館入館・入浴 ↓ ☆キャンプファイヤー ☆ナイトレク ☆ナイトハイク等 ※同時入所校と調整が必要	○朝食 ↓ ○川遊び(魚つかみ可) ○学校独自の活動等 ↓ ○昼食 ↓ ○退所式 ↓ ○退所

※ 「魚つかみ」は、三日間を通して一回のみ

◎ モデルプランⅢ(3日目の午前中にハイキングを実施するプラン) ☆は学校裁量

第1日	第2日	第3日
○入所 ↓ ○入所式 ↓ ☆火起こし ○昼食 ↓ ○野外炊事 ↓ ○本館入館・入浴 ↓ ☆キャンプファイヤー ☆ナイトレク ☆ナイトハイク等 ※同時入所校と調整が必要	○朝食 ↓ ☆川遊び(魚つかみ可) ↓ ○昼食(☆場所) ↓ ☆川遊び(魚つかみ可) ☆学校独自の活動等 ↓ ○おやつ(☆場所) ↓ ○入浴 ↓ ☆キャンプファイヤー ☆ナイトレク ☆ナイトハイク等 ※同時入所校と調整が必要	○朝食 ↓ ☆ハイキング往路 ↓ ☆ハイキング復路 ※同時入所校と調整が必要 ↓ ○昼食 ↓ ○退所式 ↓ ○退所

※「魚つかみ」は、三日間を通して一回のみ

◎ モデルプランⅣ

(ハイキングは行わず、学校独自の活動を充実させるプラン) ☆は学校裁量

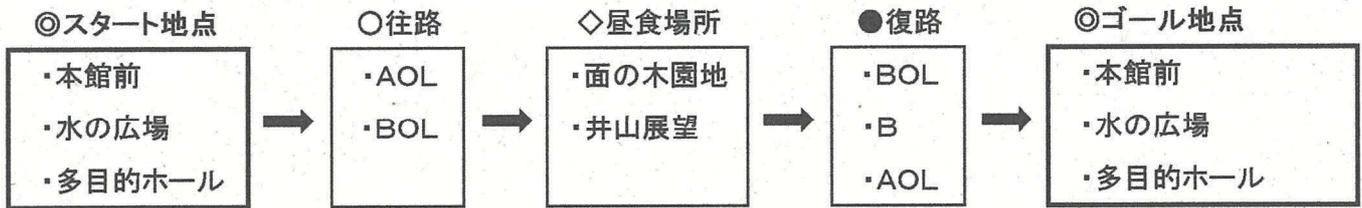
第1日	第2日	第3日
○入所 ↓ ○入所式 ↓ ☆火起こし ○昼食 ↓ ○野外炊事 ↓ ○本館入館・入浴 ↓ ☆キャンプファイヤー ☆ナイトレク ☆ナイトハイク等 ※同時入所校と調整が必要	○朝食 ↓ ☆学校独自の活動 ↓ ○昼食(☆場所) ↓ ☆学校独自の活動 ↓ ○おやつ(☆場所) ↓ ○入浴 ↓ ☆キャンプファイヤー ☆ナイトレク ☆ナイトハイク等 ※同時入所校と調整が必要	○朝食 ↓ ☆学校独自の活動 ↓ ○昼食 ↓ ○退所式 ↓ ○退所

《ハイキングの実施例》

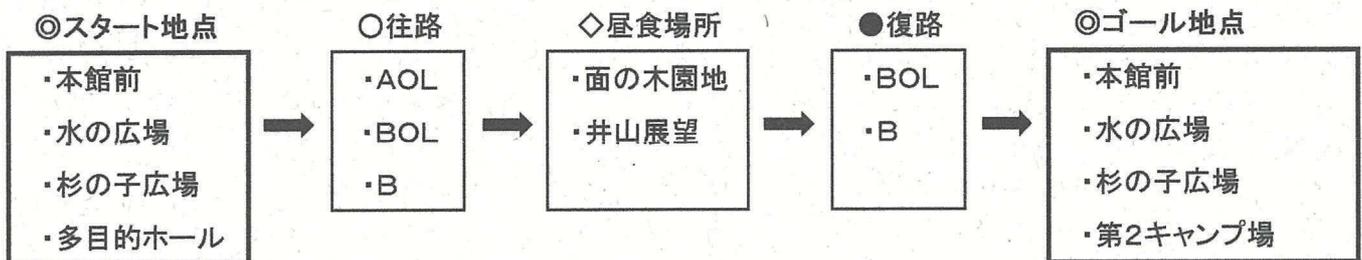
※ 入所時期の天候、学校の実態等を考慮して計画してください。その際には、**手引きに記載された食事開始・終了時刻の厳守、同時入所校との調整等**を確実に行ってください。

《午前→午後（二日目）》

◇第1（・3）本館入所校

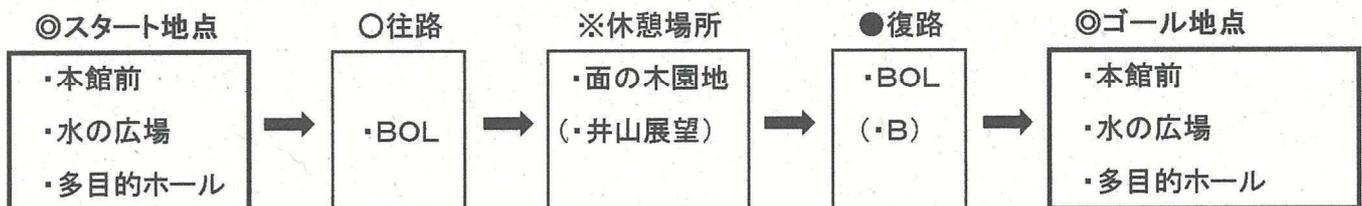


◆第2本館入所校

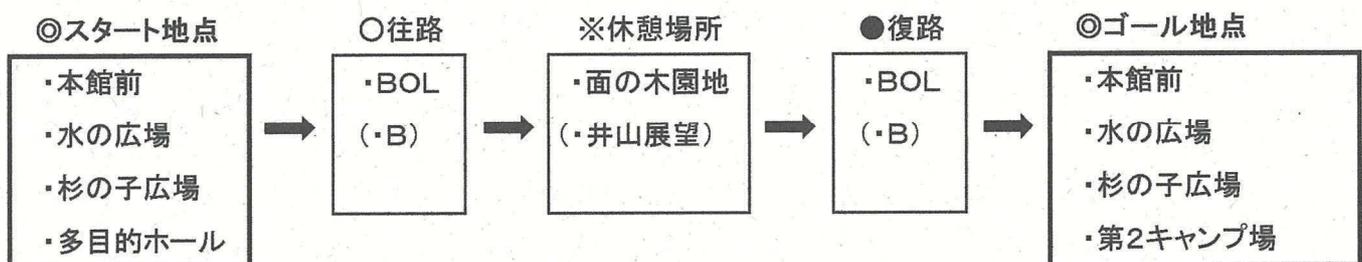


〈午前→午前（二日目・三日目）〉

◇第1（・3）本館入所校



◆第2本館入所校



昼食は、第1、第2とも、「食堂」のほか、センター施設内で喫食可能。

※ **午後実施**は、おやつ(五平もち)の片付け最終が15:30になっているため、12:00位に出発する必要があり、原則実施不可とさせていただきます。

《実施コースの距離と所要時間》 ※P54参照

- | | | |
|-----------|-------|---|
| ◇ A・OLコース | ----- | 本館～面ノ木園地: 約4.0km、約2時間 |
| ◇ B・OLコース | ----- | 本館～面ノ木園地: 約2.5km、約50分 |
| ◇ Bコース | ----- | 面ノ木園地～井山展望台～本館: 約3.2km、約1時間30分
(井山展望台～本館: 約2.3km、約1時間) |
| ◇ B短縮コース | ----- | 面ノ木園地～本館: 約3.0km、約1時間20分 |
| ◇ 林間コース | ----- | 本館～石に立つ木～分岐点～本館: 約2.3km、最大約50分 |

学校独自の活動例

「林業体験」

校内(学年)のキャリア教育の一環として、学校が入所前に豊田市の森林組合に依頼し、木材をノコギリで切る活動に全員が取り組む。

- 活動日 : 3日目(9:00~10:30)
- 活動場所: 多目的ホール
- 使用備品: 学校と森林組合が全て用意

「流しそうめん用の竹けずり」

校内(学年)で行う行事の準備の一環として実施。一部の生徒が活動。

- 活動日 : 3日目(9:00~10:30)
- 活動場所: 工房3
- 使用備品: 学校が全て用意。注)流しそうめんをセンター内で行うことはできません。

「ネイチャーワーク」

センター内に生息している動植物、人の手が加えられていたところ等の情報をエリアごとに地図に書き入れる。それらを基に生徒全員で「ネイチャーアート」等の活動を行う。

- 活動日 : 2日目(午前・午後 昼食:食堂) ※ハイキング無
- 活動場所: センター施設内
- 使用備品: 学校が全て用意(無線機、熊鈴使用)

「スコアオリエンテーリング」

センターの施設内にポイントを設置し、スコアオリエンテーリングとして実施。

- 活動日 : 2日目(午前・午後 昼食:多目的ホール) ※ハイキング無
- 活動場所: センター施設内
- 使用備品: 学校が全て用意(無線機使用)

「写生大会」

センターの施設内で、生徒全員による写生大会を実施。

- 活動日 : 3日目(9:00~10:30)
- 活動場所: センター施設内
- 使用備品: 学校が全て用意

「雨天時に用意されていた活動を実施」

ハイキングが実施されたことにより、実施できなかった雨天時の活動内容を、担当の実行委員であった生徒が行う。

○活動日 : 3日目(9:00~10:30)

○活動場所: 多目的ホール、集会室等 ※ 同時入所校との調整が必要。

○使用備品: 「学校利用可能備品一覧」から借用可

「振り返り活動」

稲武での活動を振り返る時間を、3日目の午前に設定する。帰校してからの「振り返り」の時間が確保しにくい場合を想定して実施する。

○活動日 : 3日目(9:00~10:30)

○活動場所: センター施設内

○使用備品: 「学校利用可能備品一覧」から借用可

「フォトテーリング」

写真を用いたオリエンテーリング。地図と写真を見ながら、それぞれの写真の場所を探し、その場所で課題を解いたり写真を撮ったりする。

○活動日 : 2日目(午前・午後 昼食:多目的ホール) ※ハイキング無

○活動日 : センター施設内

○使用備品: 学校が全て用意

「バードウォッチング」

○活動日 : 2日目(午前・午後)3日目(9:00~10:30)

○活動場所: センター施設内

○使用備品: 「双眼鏡5~15倍(20台)」

「ストーンペインティング」

○活動日 : 2日目(午前・午後)3日目(9:00~10:30)

○活動場所: センター施設内

○使用備品: 学校が全て用意 ※水捨て用のバケツのみセンターで用意可。

「小枝や落ち葉を使った創作模様作り」

○活動日 : 2日目(午前・午後)3日目(9:00~10:30)

○活動場所: センター施設内(工房1~3等)

○使用備品: 学校が全て用意

※ 実施について不明な内容がある場合は、必ずセンターと連絡をとってください。

入所について

〈出発～到着まで〉

- 学校出発時(9:00まで)に参加者数を「参加者内訳表」「アレルギー対応献立調査票(アレルギー対応生徒の欠席の有無)」を基に各本館へ連絡。《「出発時連絡の例」参照》

連絡先 第1本館 IP:644-161-053 TEL:0565-82-2250

第2本館 IP:644-162 TEL:0565-82-2112

- トイレ休憩出発時に、必ず利用する本館へ連絡をする。センター到着は11:00をめぐり、前入所校がある場合は11:00前は不可。トイレ休憩で調整する。

※ しおりにトイレ休憩出発予定時刻を記載しておいてください。

(センターまでは西広瀬PA・鞍ヶ池PAから約60分、香嵐渓駐車場から約50分)

- バスの号車掲示は、山道での対向車等の安全面から逆番で。

《センター到着時》

〈第1・3本館入所校〉

- ① 月の広場に到着後、入所式は多目的ホールで行う。(前入所校が無ければ本館前可)
※ 全生徒へのトイレ利用指示は、極力入所式後でお願いします。
- ② 学校備品は生徒が運ぶ。ファイヤー用品を多目的ホールの倉庫や水の広場内に置いて可。 ※ 多目的ホールに荷物を置き、野外炊事後に搬入するとよい。
- ③ 入所式後直ちに本館で打合せを行う。打合せには、学年主任・キャップ/給食担当者が参加。(アレルギー対応の確認含む)
※ 打合せ中、生徒指導・全体指示をする担当教員が必要。

〈第2本館入所校〉

- ① 第2本館駐車場到着後、学校用荷物は車2台で運搬。運搬場所(本館・本部棟)の区別を明記しておくで便利。
※ しおりに、学校用荷物を積むバスの号車の記載をお願いします。
- ② 生徒荷物は、原則、生徒各自が多目的室に入れ、第2キャンプ場へ移動。
※ 前後の入所校と到着から本部棟までの移動経路・時間・荷物等の相談を。
- ③ 入所式は本部棟前で行う。(前入所校が無ければ本館前可)
※ 全生徒へのトイレ利用指示は、極力入所式後でお願いします。
- ④ 入所式後、直ちに本部棟(事務室)で打合せを行う。打合せには、学年主任・キャップ/給食担当者が参加。(アレルギー対応確認有)
※ 打合せ中、生徒指導・全体指示をする担当教員が必要。

※ 入所式(「入村式」は×)典礼で、センター名称が「野外教育センター」となっていることを確認してください。

※ 集合写真撮影は、入所式後に予定してください。

《入所式後の打合せ》 ※ 入所式終了後すぐ(20分程度)

〈打合せ場所〉

- 第1・3本館入所校 ⇒ 打合せ室又は本館事務室(対応者:副所長)
- 第2本館入所校 ⇒ キャンプ場本部棟又は本館事務室(対応者:所長)

〈入所手続き〉

センターから「①使用報告書」「②使用報告書付票」「③野外教育センター利用感想記入用紙」をお渡しします。「①使用報告書」は一部記入をしていただき、コピーを取った後、返却します。入所時の要保護生徒数(通常学級・特別支援学級別)を把握しておいてください。

※ ①～③を、**最終日の11時まで**に、各本館事務室へ提出してもらうよう依頼します。

〈日程の最終確認等〉

- 中途入退所者の有無、日程変更の有無、野外活動に関わる内容等を確認します。

〈センター給食担当との打合せ〉 ※打合せ場所は同じ

- 喫食者数の最終確認、給食準備の場所・時刻、アレルギー対応等について。
- 「夜食(蒸かし芋)」「餅つき」を実施する学校の支払い等について。

《入所後の昼食(持参弁当)》

〈昼食場所〉

- 第1・3本館入所校 ⇒ 多目的ホール(第1キャンプ場も可)
- 第2本館入所校 ⇒ 第2キャンプ場付近 ※ 雨天時は集会室

1日目の持参弁当は、プラスチック製容器類をできるだけ使用せず、紙類などの燃やすことができる容器で持参するようにしてください。(アルミ箔は回収不可→持ち帰り)

◎ 持参弁当の分別:①可燃物Ⅰ ②可燃物Ⅱ ③プラスチック

※ 第1・3本館入所校は、持参弁当のごみを入所校の教員で事務所前に運んでください

退所について

☆ 「退所式」は、天候や気象状況に応じて、以下の場所で実施可能です。

- 第1・3本館入所校 ⇒ 「本館前」「ピロティ」「食堂」「多目的室」
※ 入所校が無い日は多目的ホールも可

- 第2本館入所校 ⇒ 「本館前」「食堂」

- ・ 集合写真撮影は、退所式前に予定してください。
- ・ 退所式終了後は、すみやかにバスに移動し、**13:30(厳守)までにバスが出発**できるように計画してください。

《出発時連絡の例》



○△中学校です。今から学校を出発します。



それでは、「参加者内訳表」「アレルギー対応献立調査票」に基づいて欠席者の連絡をお願いします。



欠席は、1号室で一人、4号室で一人、7号室で一人、10号室で一人の合計4人です。
この4人は、食卓では、1卓一人、3卓一人、6卓一人、8卓一人となります。
野外炊事では、1組3班でマイナス1、2組1班でマイナス1、3組1班でマイナス1、4組3班でマイナス1、生徒数は136になります。



欠席者の中に、アレルギー対応に該当する生徒はいますか。



います。2組のAです。(又は、「いません。」)



最後に、欠席者の中に、要保護の生徒はいますか。



いません。(又は、「一人欠席です。」)



ありがとうございました。お待ちしております。

《附の辭書和發出》

。てまじ發出を對學の場合。てまじ對學中△○



立席を校一を小して「表席内番取参」おのり子
。てまじの職はを辭職の香煎又ついで基こ「票査臨

号01、人一が室号7、人一が室号4、人一が室号1、お煎又
。てまじ人△場合の人一が室
車8、人一車6、人一車5、人一車1、おのり車食、お人△のこ
。てまじはて人一
「スサトマツ班1勝5」「スサトマツ班8勝1」、おのり車効代理
68「お嬢お坐」「スサトマツ班5勝4」「スサトマツ班1勝5
。てまじはこ



お坐るを当臨こ校一を小して、こ中の香煎又
。てまじお

（「おサまじ」お又）、てまじの勝5。てまじ



。てまじおお坐るの要緊要、こ中の香煎又、こ對景

（「てまじ煎又人一」お又）、おサまじ



。てまじはこ「さ奇は。式」まじちこそおは

センター利用について

1 主な生活時間(利用可能時間)

起床	朝食	昼食	夕食	入浴	消灯
6:00以降	7:00~9:00	11:00~13:00	16:00~18:00	15:00~21:00	22:00まで

※ 「朝・昼・夕食」での食堂利用の時間は、準備開始から全ての片付けが終了するまでの時間です。なお、喫食後の食堂利用(次の活動の説明等)は、必ず全ての片付けが終了してから行ってください。(厳守)

※ 環境保護のため節電・節水をお願いします。特に、照明の消し忘れが無いようにしてください。

2 本館入・退館時刻

入館時刻:1日目15:00以降 退館時刻:3日目13:00まで

3 館内生活

- ・ 館内で使用する履き物は、各自で準備してください
- ・ ガラスには、飛散防止のためのフィルムが貼ってあるので、セロハンテープ類は使用不可です。
- ・ 壁が壊れやすいので十分注意。また、入浴後や雨などにより湿度が高い時には床が大変滑りやすいので注意してください。
- ・ 枕カバーはありません。生徒各自でタオル等(幅40cm×長さ65cm程度)を持参し枕にまいて使用してください。
- ・ 使用した寝具は、部屋に掲示してある写真のように畳み、入所時の写真と全く同じになるように収納し、必ず教員が確認してください。(厳守)
- ・ 本館の玄関はセキュリティ上、22:00~翌朝6:00は施錠します。開けた場合は必ず施錠してください。
- ・ 食堂は24時間、開錠しています。第1本館入所校は、第1本館と第3本館の境界施錠は可能です。鍵は事務室に申し出てください。

4 入浴《入浴時の節水にご協力をお願いします》

- ・ 風呂用循環装置やボイラーは生徒の入浴後に停止します。ただし、シャワーは使用できます。
 - ・ 21:00までに浴室利用を完了してください。ボイラーを停止します。
 - ・ 浴室のシャワーの温度は40℃に設定してあります。温度を上げると熱湯が出ますので温度調節をしないようにお願いします。(第1本館)
 - ・ 浴室には、ボディソープのみ常備してあります。(シャンプー等は学校判断で持参してください。)
 - ・ 入浴終了後、浴槽の栓は抜かないでください。
 - ・ 浴室、浴槽の掃除は行わないでください。脱衣所の床、棚の雑巾がけのみお願いします。(雑巾は学校持参)
 - ・ 10月中旬~11月は、夜間気温が下がるので、活動後の入浴を推奨します。
 - ・ 通常6学級以下(特支の有無にかかわらず)の第1・3本館入所校の入浴は、第1本館の浴室のみの利用となります。
 - ・ 入浴後のドライヤー使用は、充電式の物で、学校が決めた場所でのみ可。ただし、センター内での充電は禁止(厳守)です。
- ※ 第2本館には、入浴時の教官用椅子と「つい立て」があります。

5 ごみ処理

(1) ごみの分別

入所後の打合せ時に、ごみ袋を2枚配付します。以下の豊田市のごみ処理方式に従いごみを分別してください。ごみ袋は持参していただいても構いませんが、名古屋市のごみ袋に入れたものは回収できません。

※ 教官室で出たごみは、必ず学校へ持ち帰って処分してください。

◇ 可燃物Ⅰ＝残飯(野外炊事時の野菜くずも含む)	} センター で処理
◇ 可燃物Ⅱ＝紙類・割りばしなど	
◇ プラスチック＝プラスチック製品(プラ製品、ビニル袋、ラップ等) ※ プリン・乳酸飲料・ヨーグルト・ゼリー容器、壊れたうちわを含む	
◇ 業者回収物＝牛乳パック(ストローを含む)	
◆ 不燃物＝缶類・ビン類・金属類(アルミ箔、針金等も)・ 使い捨てカイロ	} 学校へ持 ち帰り
◆ 資源＝ペットボトル・段ボール・ 使用済ケミカルライト	

(2) 主な活動場面での分別 ※ 活動場所にてセンター所員の説明あり

1日目 持参弁当	①可燃物Ⅰ ②可燃物Ⅱ ③プラスチック ※1日目の持参弁当は、 プラスチック製容器類をできるだけ使用せず、紙類などの燃やすことができる容器で持参。 【アルミ箔は回収できません→持ち帰り】
1日目 野外炊事	①可燃物Ⅰ ②可燃物Ⅱ ③ プリン容器・プリンスプーンの袋、ウインナーのビニル ④ プラスチック(持参したプラスチック・壊れたうちわ、そだを縛った紐)
2日目 昼食弁当	①可燃物Ⅰ ②可燃物Ⅱ(はし・はし袋) ③ プラスチック(乳酸飲料容器)

- ・ 食堂内のごみ処理については、センター所員の指示や表示に従ってください。
- ・ 館内(部屋や廊下等)で回収したごみ(可燃・プラ)は、配付したごみ袋にまとめて事務室へ。
- ・ **トイレのごみは、本館トイレ内のペールバケツに、両キャンプ場のごみは、指定されたごみ置き場に置いてください。**

6 清掃

- ・ 最終日の野外活動終了後に行うよう計画してください。
- ・ **風呂の掃除は必要ありません。**分担箇所から除いてください。
- ・ トイレの床清掃は、水を使わないでください。また、使用したブラシの水滴等で床を濡らさないようにお願いします。

7 その他

- ・ **5学級(通常)以下の第1・3本館入所校は、原則第1本館のみの利用となります。**
- ・ 写真業者や、報告された引率者・参加者以外の方が来所する場合は、**必ず事務室で外来者の受付**をしてください。(不審者対策・災害時対応)
- ・ トイレの便器内に落とし物をしたときは直ちに事務室へ連絡してください。
- ・ 学校からの連絡や問い合わせは、**IP電話を利用**してください。
- ・ 夜の活動時には必ず懐中電灯を携行させ、橋や階段の通行には十分注意させてください。
- ・ 県道の歩行・横断は厳禁。歩道やシンプロントンネルを必ず利用してください。
- ・ **※ シンプロントンネル内の照明は、安全確保のため夜間点灯。(人感センサー対応)**

東校全安をす校に主業連事の原不害災火・露水・雨大・風暴

専許業校全安をす校に主業害災 1

専許業校全安をす校に主業害災 1

専許業校全安をす校に主業害災 1

専許業校全安をす校に主業害災 1

専許業校全安をす校に主業害災 1

専許業校全安をす校に主業害災 1

東校全安・業報の初主業害災 2

東校全安・業報の初主業害災 2

東校全安・業報の初主業害災 2

東校全安・業報の初主業害災 2

東校全安・業報の初主業害災 2

専事意主 3

東校全安 業報の初主業害災	東校全安 業報の初主業害災	東校全安 業報の初主業害災	東校全安 業報の初主業害災
東校全安 業報の初主業害災	東校全安 業報の初主業害災	東校全安 業報の初主業害災	東校全安 業報の初主業害災

暴風・大雨・地震・火災等不測の事態発生に対する安全対策

1 災害発生に備える安全対策指導

- ・利用校は、下見及び入所時に避難経路及び避難場所の確認を行い、生徒への指導も併せて行ってください。
- ・愛知県西三河北東部を含む地域に警報、または地震災害に関する注意情報が発せられた場合、センターは各種の情報を集め利用校に連絡します。
- ・「学校事務の手引 第1編 VIII災害等の安全対策について」に準じます。

※ 義務教育課発出の「野外教育活動における非常事態発生時の対応」を必ず確認してください。(P68～70に掲載)

2 災害発生時の避難・安全対策

- ・災害が発生した時、発見者はセンター所員へ速やかに状況・場所等を連絡してください。
- ・避難経路及び避難場所は、「施設避難経路図」「本館避難経路図(第1・3)、(第2)」「ハイキングコース避難経路」(P27～30)に示してあります。

3 注意事項

① 災害発生時にはセンター所員と連絡をとって行動する。

② 地震発生時

- ・宿泊室 毛布を身体の上へのせ(特に頭部を保護)、動かないで地震が止むのを待ち、指示により毛布で頭を保護しながら避難場所へ。
- ・食堂 食卓の下へもぐり地震が止むのを待ち、指示により避難場所へ。
- ・屋外 川岸、崖等危険箇所から速やかに離れ、安全な場所へ移動。

③ 雷雲発生時

- ・雷が発生しやすい季節は、落雷に十分注意し、高い樹木付近から離れる。
- ・雷雲の接近が予想される時には、金属類を持たずに、できるだけ早く建物の中へ入る。

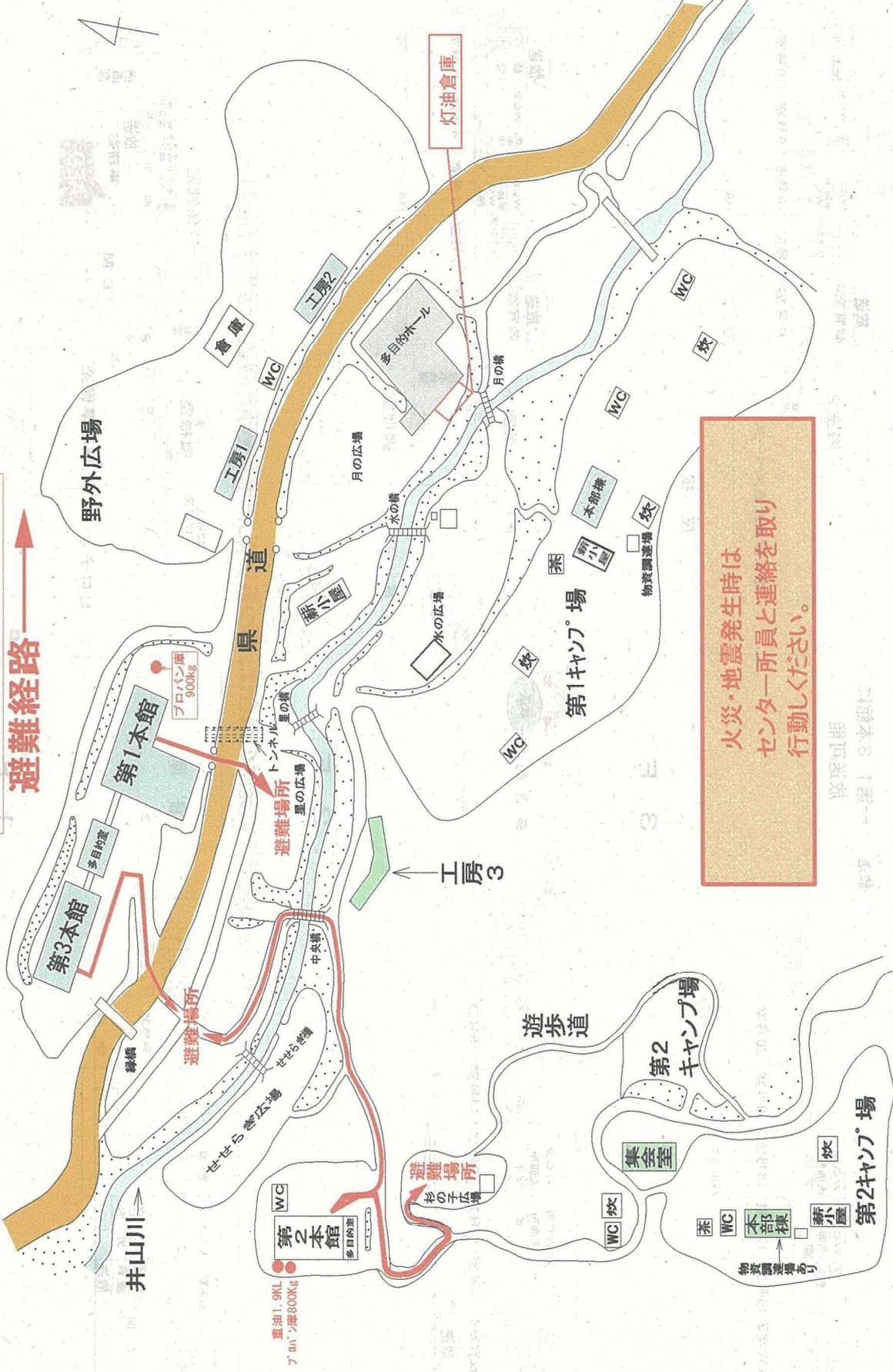
※ 部屋長・班長等、リーダーが非常の際にも適切な行動がとれるように指導しておいてください。

※ 以下の場所には、危険物が設置されているので、近寄らない。

第1本館	本館外東側 プロパン庫	多目的ホール南側 灯油倉庫
第2本館	本館外西側(地下式) 重油タンク	本館外西側 プロパン庫

施設避難経路図

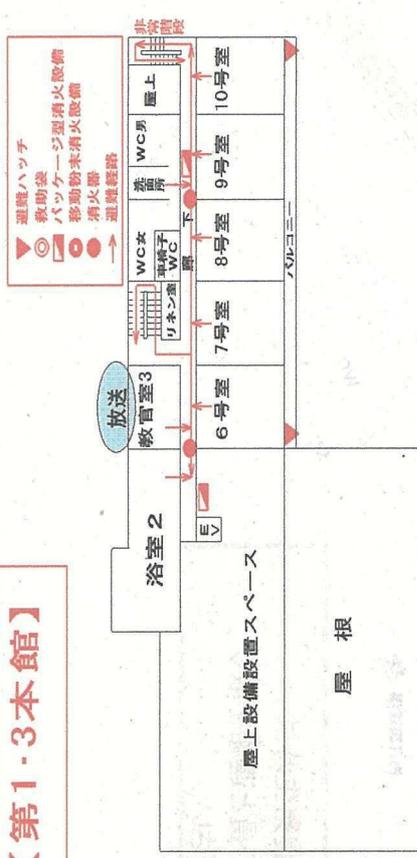
避難経路



火災・地震発生時は
センター所員と連絡を取り
行動してください。

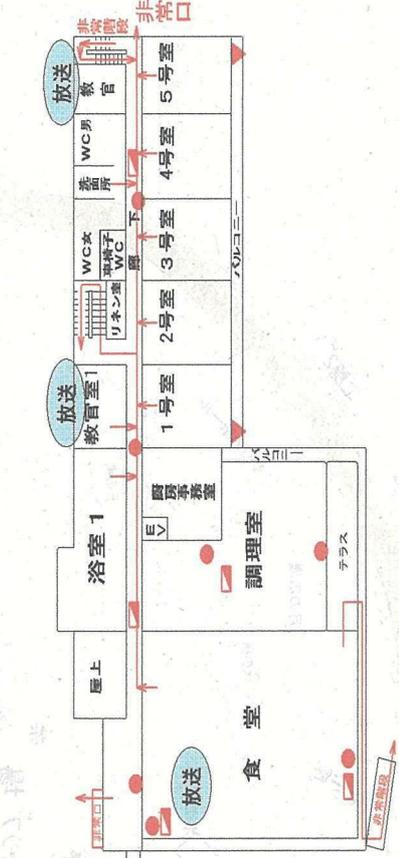
救急可能
徒歩13分圏内

本館避難経路図【第1・3本館】



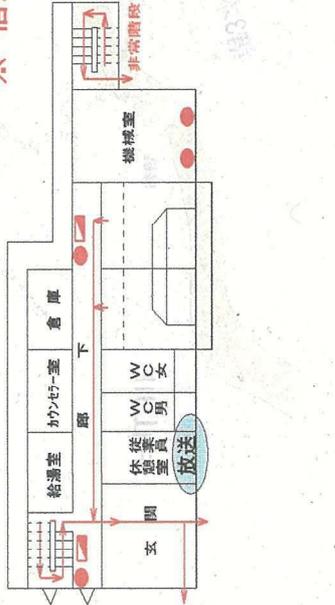
←第1, 3本館に
放送可能

3 F



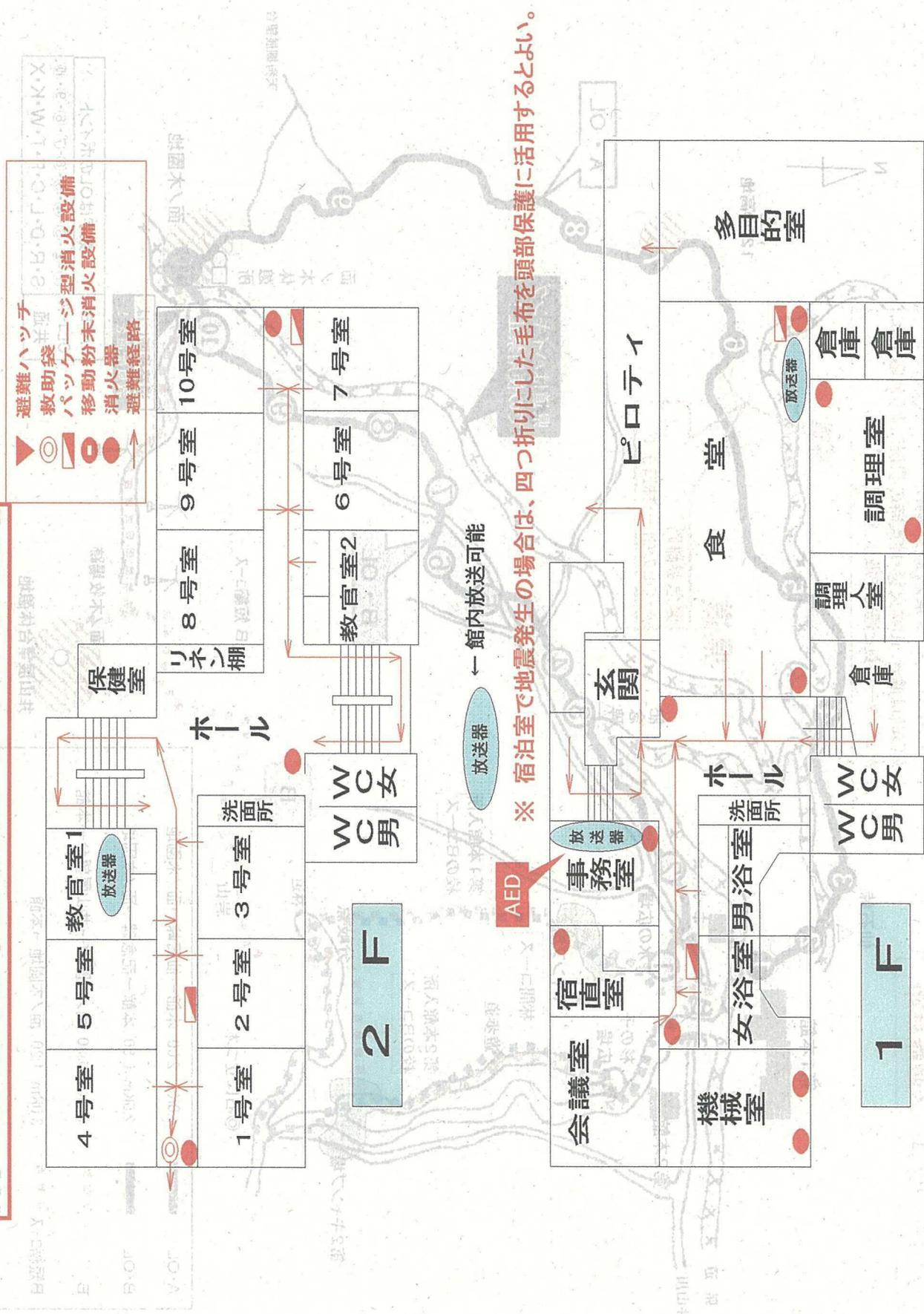
2 F

※ 宿泊室で地震発生の場合は、四つ折りにした毛布を頭部保護に活用するとよい。



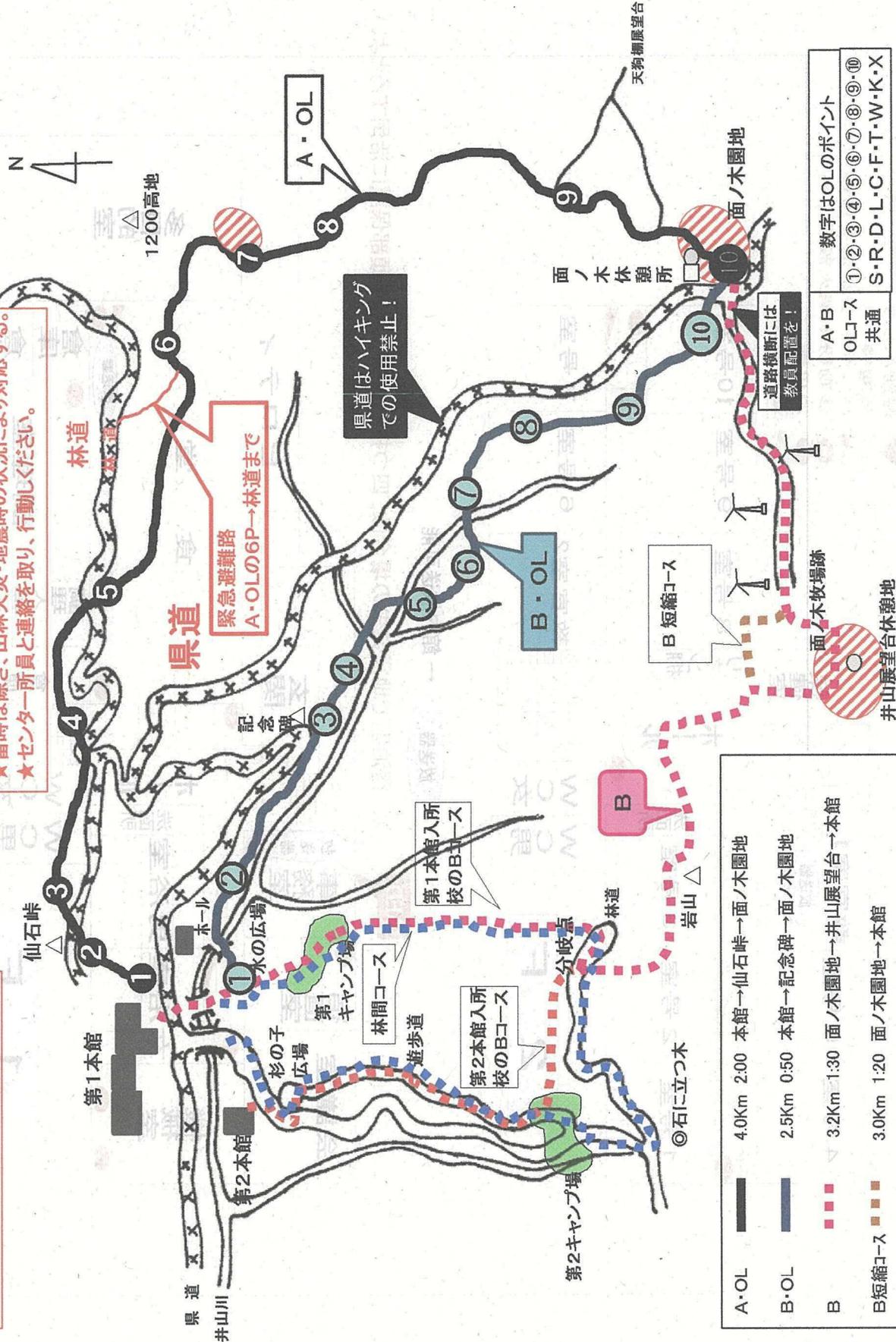
1 F

本館避難経路図【第2本館】



ハイキングコース避難経路

ハイキング中の緊急避難場所
 ★ 雷時は除き、山林火災・地震時の状況により対応する。
 ★ センター所員と連絡を取り、行動してください。



A・OL	4.0km	2.00	本館→仙石峠→面ノ木園地
B・OL	2.5km	0:50	本館→記念碑→面ノ木園地
B	3.2km	1:30	面ノ木園地→井山展望台→本館
B短縮コース	3.0km	1:20	面ノ木園地→本館
林間コース	2.3km	0:50	本館→石に立つ木→分岐→本館

A・B	数字はOLのポイント
OLコース	①・②・③・④・⑤・⑥・⑦・⑧・⑨・⑩
共通	S・R・D・L・C・F・T・W・K・X

道路横断には
 教員配置を!

給食について

【 本館内での給食について 】

1. 配膳や食事の前には**必ず手洗い**を。※食堂入口には手指消毒液有。
2. 「配膳見本」で確認してから配膳してください。配膳後、不足するものがあれば、**全体を確認してから**、申し出てください。

余った副食及びご飯は、1個か2個の食器または食缶にまとめ、配膳後、空になった食缶は、**食事前に返却**してください。

アレルギー対応生徒の配膳については、教員が立ち会い、十分に注意する。

食物アレルギーに関しては、4月に更新される、「献立食材内訳表(P)」を参照し、必要に応じてセンターへ問い合わせてください。なお、食材の代替変更を希望する学校は、「アレルギー対応献立調査票(P)」を提出してください。詳細はセンターの給食担当者(第1本館事務室)にご相談ください。
※ 全ての献立に、くるみ・そば粉は使用していません。

3. 食事後は、**食卓ごとに食器を「あみかご」にまとめて返却**してください。
4. **残菜(残飯・残汁等)やごみ処理は、センター職員の指示に従って**ください。
※ 牛乳パックは、ストローを牛乳パックの中に押し込み、
つぶしたり、たたんだりせずに、ケースに返却します。
5. 食事後の連絡・指導は、**食器をすべて返却し終わってから**。(厳守)
6. 食事後、椅子は使わなかったものも含め、**食卓の上**にあげておきます。
7. **食事中に机や椅子を移動させたときは、食事前の状態に戻して**ください。
8. 食堂内の清掃道具を使用し、食卓の上や食堂の床を掃除。(含おやつ、夜食時)
9. 「食事」の時間には、**準備から食器片付け終了まで**を含みます。
10. 喫食後の食堂利用(次の活動の説明等)は、**必ず全ての片付けが終了して**から行ってください。(厳守)

食堂開放時間: 準備から後片付けまで

◎朝食…………… 7:00～ 9:00

◎昼食…………… 11:00～13:00

◎夕食…………… 16:00～18:00

配膳は、必ずエプロンやマスク、バンダナ等を身に付けさせるなど、衛生面に十分に気を付けてください

※ 2日目の夕食配膳準備開始は、**16:30までに計画**してください。
後片付けは18:00までに完了!

【 給茶について 】

1. キャンプ場での給茶は、湯茶小屋で湯を沸かし、やかん1個(3ℓ)につきティーバックを1袋入れて行います。※鍋での煮出し可。
2. 食堂での給茶は1学級当たりやかん5個を準備。やかん1個(3ℓ)につきティーバックを1袋入れて行います。不足する場合は事務所へ。
3. 食堂での給茶は、24時間利用できます。
4. 食堂のやかんの屋外や部屋へ持ち出しは禁止。必要に応じてペットボトル等を用意してください。
5. 3日間で6回分のティーバックを用意します。不足する場合は事務室まで申し出てください。(1袋で2度は給茶可能です。)

【 キャンプ場『野外炊事』食材の支給方法・内容について 】

- ・ 食材数量は最初に給食担当者が確認します。
 - ・ 食材支給後、「カラス」に注意させてください。(物資調達場も注意)
- ※食材運搬かごのラベルは外さないように。
※食中毒予防のため、食材を館内に持ち込んだり、片付け終了後に食べたりすることは厳禁です。

1号食の分配について

①米

- ・ 4人分が入った飯ごうと、3人分が入った飯ごうが物資調達場に用意されています。
- ※ 蓋が閉めてあるものが4人分、のせてあるものが3人分。5人の班は、飯ごうは1個になります。

②カレー食材(冷凍肉、じゃがいも・にんじん・玉ねぎ、カレールウ、福神漬)

- ・ センターで班の人数ごとに袋で仕分けし、学級用のかごで物資調達場へ運搬。
- ・ 給食担当者が食材を受領・確認。(野外炊事説明の10分前までに)
- ・ 受領・確認後、班運搬用のかごに班ごとの食材を分配。
- ・ 分配された食材(班運搬用のかご)を各班の食材係へ配布。

③ウインナー・プリン・バナナ ※バナナは夜食可

- ・ カレー食材の配布後、物資調達場で班ごとの人数分に分配。
- ・ カレー鍋の準備が終わったら、食材係が班運搬用のかごを持って物資調達場へ。
- ・ 班の人数分ずつ仕分けされたウインナー・プリン等を、かごに入れて食事場所へ。

【 1日目の夜食(蒸かし芋)について 】

- ・1日目の夜食として、芋を有料(1人30円)で提供します。
- 芋は、全期間じゃがいもを予定しています。
- ・支払いは、現金(入所後の打合せ時)または振込(手数料学校負担)でお願いします。

希望する学校は、シートD・G「野外活動申込書(P8・11)」に必要事項を記入してください。「芋を洗う」「蒸す(喫食の90～120分程前に着火)」、後片付けなどの作業が必要です。「洗う」作業は、**担当教員1名と各学級2名程度の生徒で行います。**15:30～16:00開始で計画してください。**天候不良を除き、食堂での喫食はできません。(ピロティーは可)**喫食後、次の学校が使用できるように蒸し器・使用した道具等の洗浄を、喫食終了後22時まで、または翌朝までをお願いします。

【 2日目の『弁当』の支給方法・内容について 】

- ・2日目の弁当は、11:00以降に活動場所(1か所)まで運搬可能です。
- 容器は13:00までに返却してください。(厳守)
- ・手引きP20・23「野外活動申込書」の**昼食場所・受取希望時刻**を必ず記載。
- ※ 突然の雷雨や野生動物の出没等により、計画の突発的変更がある場合は速やかに連絡してください。

【 2日目の『おやつ(五平餅・牛乳)』の配付について 】

- ・配付時間は13:00以降に可能です。15:30までに片付けを完了してください。
- ・活動場所(各広場や多目的ホール)への運搬は、1か所に限り可能です。

【 ハイキング時の『氷砂糖』について 】

- ・受け渡しは、入所からハイキング出発前までの間で可能です。
- ・空袋(未開封のものも含む)の回収は、確実に行ってください。(厳守)

※ その他

- ・保健所の指示により、各本館食堂での室内レクはできません。(食堂外への、机・いすの移動もできません)
- ・入所後の「食数変更」は、P34の表に基づいて行います。
- 〈例〉「1日目の夜、体調不良になった生徒が、2日目に保護者迎えで退所する場合。」
→ 2日目午前8時までに報告があれば4～6号食カット可能

※ 入所前に変更が明らかな場合も対応可能です。その際は、必ずセンターに連絡してください。

食数の変更について

1・2号食は、入所打合せ終了時点で変更不可（原則）

3号食変更 1日目 ～ 17時までに事務室に連絡

4号食変更 2日目 ～ 8時までに事務室に連絡

5号食変更 2日目 ～ 12時までに事務室に連絡

6号食変更 2日目 ～ 17時までに事務室に連絡

1日目	2日目	3日目
	朝食 2号食	朝食 5号食
	昼食 3号食	昼食 6号食
夕食 1号食	夕食 4号食	

ア)C)東雲の煤倉

問題) 西平東雲の煤倉を餘甘合共四人 刈倉集り

餘甘合 東雲集り 刈倉集り 西平集り 日付 東雲集り

刈倉集り	東雲集り	西平集り

献立表

通常期間 (4/21~7/11 9/2~最終)

	1日目	2日目	3日目
朝食		2号食 ・バターロール ・マーガリン ・ジャム ・コーンポタージュ ・ポークウインナー ・サラダ ・牛乳	5号食 ・ご飯 ・味噌汁 ・ベーコンのソテー ・味の豆 ・漬物 ・味付海苔
昼食		3号食 ・炊き込み弁当 ・乳酸飲料	6号食 ・ちらし寿司 ・清まし汁 ・ささみフライ ・ポテトサラダ ・フルーツ ・ヨーグルト
夕食	1号食 ・カレーライス ・福神漬 ・ウインナー ・プリン ・バナナ	4号食 ・ご飯 ・味噌汁 ・ヒレカツ ・カラアゲ ・フライドポテト ・スパゲティ ・筑前煮 ・付合せ ・杏仁豆腐	
	お茶 ・ 玄米茶	おやつ	・五平餅、牛乳 ・水砂糖

夏休み期間 (7/21~8/29)

	1日目	2日目	3日目
朝食		2号食 ・バターロール ・マーガリン ・ジャム ・ハム ・チーズ ・ゼリー ・果物 ・牛乳	5号食 ・ご飯 ・味噌汁 ・ベーコンのソテー ・味の豆 ・漬物 ・味付海苔
昼食		3号食 ・ちらし寿司弁当 ・乳酸飲料	6号食 ・炊き込みご飯 ・清まし汁 ・ささみフライ ・ポテトサラダ ・フルーツ ・ヨーグルト
夕食	1号食 ・カレーライス ・福神漬 ・ウインナー ・プリン ・バナナ	4号食 ・ご飯 ・味噌汁 ・ヒレカツ ・カラアゲ ・フライドポテト ・スパゲティ ・筑前煮 ・付合せ ・杏仁豆腐	
	お茶 ・ 玄米茶	おやつ	・五平餅、牛乳 ・水砂糖

※ 食材は天候、災害等により変更の場合あり

保健関係

1. 留意事項

- 1) 季節により、名古屋と5~10℃程度の気温差があります。(服装に留意)
- 2) 野外炊事やキャンプファイヤーでは、季節に関わらず、長袖で、燃えたり溶けたりしにくい綿製の衣類を着用(厳守)させてください。
- 3) 野外炊事・ハイキング等では、軍手や、底の丈夫な履き慣れた靴を用意してください。
- 4) 6月以降は、ハチ対策のため、できるだけ黒っぽい服装を避けるようにしてください。
- 5) 生水や、前日のお茶は、飲ませないようにしてください。
- 6) 火傷、捻挫、擦過傷、虫刺されなどには十分注意するよう指導してください。
- 7) 入所中発熱した生徒は、別室で待機させ、「保護者の迎え」「タクシーでの搬送」等の対応をします。高熱により緊急を要する場合は、救急車の搬送を依頼します。
- 8) 火傷・捻挫・体調不良等で医療機関へ搬送する場合に備え「健康保険証」「名古屋市子ども医療証」またはそれぞれの写し(有効であることを確認)を持参してください。写しがない場合、実費負担となる場合があります。引率教員も自身の健康保険証を忘れずに持参してください。
※「医療等の状況」用紙(独立行政法人日本スポーツ振興センターの災害共済給付金の支払請求に使う用紙)は、学校で用意してください。
※「義務教育課発出 稲武野外教育での救急対応について(P39)」の4で、保険証の対応について確認してください。



2. 連絡事項

- 1) 体調不良者のための粥食は提供できません。
- 2) 保健室に、ミネラルウォーター、氷、氷枕(アイスノン)、生理用品があり、利用可能です。
(第1・2とも、エアコンが設置してあります。)
- 3) ベッド数は、第1本館保健室が4台、第2本館保健室が2台。
- 4) AED(自動体外式除細動器)は、第1・2本館事務室の受付窓口横に設置してあります
- 5) ハイキングの出発前に、残留生徒名簿を事務室に提出してください。
- 6) ハイキング中に急病人が出た場合は、センター本館へ無線で連絡してください。
- 7) 人数の調整で寝具を移動した場合は、必ず元の部屋に戻してください。※教官室も同様。
- 8) サーナマット・毛布等を汚した場合は、必ず部屋番号を記して事務室へ。
- 9) 教官室の敷・掛布団カバー、枕カバーは、教官室の籐のカゴにあります。使用後は、外して籐のカゴに戻しておいてください。
- 10) トイレのごみは、各本館、各階トイレ内の「パールバケツ」へ。



活動の時に濃い色の服を着ているとハチが寄ってくるから、できるだけ黒い服は避けた方がいいみたいだよ!

夏から秋にかけては、ハイキング前の水分補給と、日除け・ハチ除けのために、帽子の着用を忘れないでね!



【義務教育課発出文書】

令和7年度 稲武野外教育での救急対応について（令和7年3月現在）

1. 体調不良・けがの対応について

- ・発熱した生徒は別室で待機し、保護者の迎えを待つ。
 - ・高熱が出るなど、緊急を要する場合は、躊躇なく救急車の搬送を依頼する。
(救急車要請時、通常、センターまで約10分で到着 ※ 稲武出張所に救急車がいる場合)
 - ・体調不良(発熱を除く)・けがの生徒についての近隣病院への搬送は、基本的にタクシーを利用する。
- ※ 各校で旅行傷害保険(救援者費用)に加入する場合は、支払い条件について業者と事前に確認し、保護者に伝えておくことが大切です。

2 体調不良・けがの生徒の搬送が可能なタクシー・近隣病院一覧

利用できる タクシー	納庫(なぐら)タクシー(設楽) 電話:0536-65-0048	
	日の出タクシー (足助) 電話:0565-62-0064	
	オーワ (足助) 電話:0565-67-2222 ※夜間対応不可	
	名鉄東部交通 (豊田市) 電話:0565-32-1541	
利用できる 近隣病院	通常診療	夜間対応
	古橋クリニック(内科) 電話:0565-82-3638 住所:豊田市稲武町タヒラ10 診療時間:9:00~12:00 15:00~18:00(木・土の午後、日・祝は休診)	夜間対応不可
	山田醫院(内科) 電話:0565-82-2111 住所:豊田市武節町ソト田80-2 診察時間:9:00~12:00 16:00~19:00(水・土の午後、日・祝は休診)	夜間対応不可
	足助病院(内科・整形外科・眼科・外科・皮膚科) 電話:0565-62-1211 住所:豊田市岩神町仲田20 診察時間:内科 月~金 9:00~12:00 15:00~17:00 整形外科 月~金 9:00~12:00 水のみ15:00~17:00 耳鼻咽喉科 火、木 9:00~12:00 水のみ15:00~17:00 眼科 月~金 9:00~12:00 月のみ13:00~16:00 外科 月、火、水、金 9:00~12:00 皮膚科 火、金 9:00~12:00	夜間担当が 小児科医の場合 診療可能となる 場合あり 0565-62-1211
	上矢作病院(内科・外科・整形外科など) 電話:0573-47-2211 住所:恵那市上矢作町3111-2 診察時間:8:30~11:30(土・日・祝は休診) 整形外科は水・金のみ 8:30~11:30(要予約)	夜間担当が 小児科医の場合 診療可能となる 場合あり 0573-47-2211

※ どの病院も事前に症状を連絡して対応可能かどうか確認が必要

※ 上記近隣病院で受け入れが不可の場合は、救急車で搬送を依頼

3 タクシーの利用について

- ・各校は、タクシーでの搬送が必要になった場合、稲武野外教育センターから上記のタクシー会社に連絡をとり搬送を依頼する。利用後の学校によるタクシー代の支払いは不要。
- ・救急車で搬送後、付添者がセンターへ戻る際、タクシーを利用することは可能。

4 令和7年度の保険証の対応について ※ 変更があり次第、随時お知らせいたします。

病院名	対 応
山田醫院 古橋クリニック 足助病院	※「健康保険証」が無い場合は以下どちらでも対応可能です。 ○ マイナポータルに表示される「被保険者資格情報」のPDFファイルを印刷したもの。(「被保険者資格情報」のページを表示してスクリーンショットし、プリントアウトする。) ○ 「健康保険資格確認書」のコピー。
上矢作病院	

☆ 火おこし ☆

- ① 実施場面：入所式後 ※提出書類「野外活動申込書」に必要数等を記入。
- ② 使用器具：「火切り棒」「火切り板・台」「火種受け」「消火バケツ」「ランタン(学校裁量)」
※「火切り棒」「火切り板・台」「火種受け」「消火バケツ」「ランタン」の数は、最大で学級数分。
- ③ 実施方法：隊形や生徒の配置、実施生徒を事前に決定しておく。センター所員が手順を説明した後、引率教員で実施する。
・火傷防止のため、実施生徒は夏季でも長袖を着用すること。

《ユミ切り》① 二人一組になり、火切り板を足でしっかり押さえる。



② 一人が火切り棒を押さえ、二人で弓の両端を持って左右に引き、火種を作る。



③ 火種ができたら、火種受けに落とす。



《マイ切り》

④ 火種受けを顔の前に持っていき、火種に息を吹きかけ、杉の葉を燃やす。



※ 火おこし後ランタンを利用する場合は、火種受けでできた火を、ランタンに移す。



★ キャンプファイヤー及び退所式でのランタンの貸出数は1台のみ。

野外炊事の進め方

今年度、「野外炊事の説明」動画を配信しました。ご活用ください。

◎ 野外炊事を始める前に

- ・ 飯ごう炊さんやカレーづくりについて、所員の説明は行いません。準備から片付けまで全て **学校の指導**で行ってください。
- ・ うちわ、新聞紙、軍手(原則全員)は**必ず持参**し、季節に関わらず、長袖で、燃えたり溶けたりしにくい綿製の衣類を着用させてください。(厳守)
- ・ 1学級4班または5班、1班あたり6~8人(教員・その他参加者を含む)で編成してください。
- ・ カレー食材は**班単位**で、その他は学校参加人数一括で物資調達場へ運搬します。炊事開始前に給食担当者が受領・確認をしてください。
- ・ 支給方法は、実践編P34「キャンプ場【野外炊事】食材の支給方法・内容について」を参照してください。
- ・ 運搬用のカゴに貼るメモ用紙(「〇組〇班〇人」等)を学校で用意してください。

1 火のおこし方



- ・ 新聞紙(半ページ)をハンドボール大に軽く丸め、2~3個をかまどの中央に置く。
- ・ 細いソダを半分に折って、丸めた新聞紙の上に置く。その上に折っていない残りのソダを全部のせる。ソダを縛っていたビニールひもは、プラスチックごみとして捨てる。
※ 雨天時のかまどでは、ソダの代わりに細い割り木を使用することがある。
- ・ ソダの上に割り木4~5本(細いもの)を、もたせかけるように置いて準備する。
※ 割り木をまとめてあった「たが」は、指示された場所の釘にかける。
(カレー用の割り木として、太い物5~6本を別にして残しておく。飯ごうが炊き上がらないときはカレー用に残した割り木も使う)
- ・ 米を研ぎ終わった飯ごう(水が入っているか確認)が到着したら、飯ごうをのせ、火をつける。



以下は、ときどき見かけるよくない例



そのまま新聞をおいても燃えない。



新聞紙を硬く丸めすぎて燃えない。



ソダは燃えやすいが、割り木に火が移りにくい。



新聞紙や割り木、ソダの重ね方が逆では割り木は燃えない。

2 飯ごうの準備と炊き方

- 飯ごうの米の量は、令和7年度より人数分になっています(蓋が閉めてあるのが4人、のせてあるのが3人)。5人の班は、飯ごうは1個。



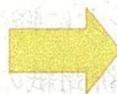
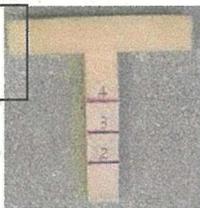
蓋が閉めてある「4人」入りの飯ごう



蓋がのせてある「3人」入りの飯ごう

- 炊事場の水道で、2～3回水を替えて米を研ぐ。(水を米より少なくして研ぐと米がこぼれない。
- 米の量に応じて飯ごうに水を入れる。水量は炊事場にあるT字定規で測り、数字の下の線まで入れて蓋をする。

飯ごうの水を測る「T字定規」



- 飯ごうが「背中合わせ」又は「腹合わせ」になるようにして鉄網の上ののせる。
- 鉄網の上ののせ、新聞紙に火を付けたら、強火で一気に炊く。
 - ※ 炎を消さないよう、かまどの底に向かってうちわで風を送る。
 - ※ 通気が悪くなり灰が舞うため、後から新聞紙や杉の葉などを燃やさない。
- しばらくすると沸騰して、蓋の間から泡状の汁が吹きこぼれてくる。
- 吹きこぼれが終わり、水蒸気が出てしばらくしたら、飯ごうを下ろし、蓋を開けて炊き上がりを確認する。(飯ごうを傾けて、水が出てこなければ炊き上がり。)
- 炊き上がった飯ごうは、新聞紙を敷いて逆さまに置き、10分程度蒸らす。
- 蒸らしている間に(飯ごうがまだ熱いうち)、飯ごうの外側のススを新聞紙でこすって拭き取る。
- 飯ごうのご飯をボウルに移す。その後、飯ごうに水を入れ、洗いやすくしておく。
 - ※ カレーが出来上がるまでの間に飯ごうを洗う。カレーが完成したら飯ごうの洗いを中断させ

食事を優先する。

3 カレーの作り方

- 野菜を洗い、じゃがいもとにんじんは煮えやすい大きさに切る。
- 鍋に野菜、肉(沸騰してからでもよい)、水を入れる。
※ 水は、炊事場のジョッキで、人数分(6~8)を計って入れる。
- 鍋を持つときには、必ず持ち手を2本持つ。(1本だと傾いてひっくりかえる)
- 沸騰し始めたら「おたま」でよく混ぜる。沸騰が7~10分続いた頃、じゃがいもの硬さを調べる。
- 蓋を裏返しその上にじゃがいものをのせ、「おたま」で切って硬さを確かめる。カレールーは、必ずじゃがいもが柔らかくなったことを確認してから入れる。
- 焦げないように「おたま」で鍋底をかくように混ぜ続け、とろみが出るまで煮込む。
※ 混ぜている間は、鍋に灰が入るので、うちわは使わない。
※ 雨天時の食事場所は、第1・3本館入所校は多目的ホール、第2本館入所校は集会室です

カレーの水を測る
「ジョッキ」



4 後片付け

- かまどの割り木は、食事中は燃やしておく。食事が終わったら道具(金属のちりとりと掻き出し具)を使って灰や残り木を取り出し、灰捨て場に捨てる。
※ 灰、残り木に水をかけない。(厳守)
※ 金属のちりとりが熱くなるので、必ず軍手を着用し、木杵の部分をもつ。
- 飯ごうや鍋はセンターが準備している以下のものだけを使って洗う。飯ごうが焦げ付いたら所員連絡してください。

- ・食器用洗剤、粉のクレンザー(各炊事場2本)、
- ・スポンジ、コゲ落とし用ナイロンたわし(各炊事場12個)

- ※ 洗剤は学校から持参しない。(厳守)
- 飯ごうの内側と鍋の両面、取っ手とその周りは、少量の水を含ませたナイロンたわしにクレンザーを付けてしっかりこすり落とす。
- 飯ごうの外側は、ススが残らないように液体洗剤で洗い落とす。
- 貸し出し備品は丁寧に洗い、教員が点検してから(翌日洗い直し有)備品置き場に返納する。

5 ゴミについて

ゴミは、**4種類**に分別して捨てる。

- ① 生ゴミ(野菜くず・残飯・ティーバッグ等)
- ② 燃えるゴミ(紙類・プリンスプーン・学校持参の紙皿・割りばし等)
- ③ プラスチック1(ウイナーの袋・プリン容器・プリンスプーンの包み)
- ④ プラスチック2(ソダを縛ったひも・ラップ・学校持参のプラスチック皿・プラスチックスプーン・こわれ

うちわの骨等)

- ・ 教員を適切に配置して、炊事場やかまど周辺の清掃状況を確認してください。

6 その他

- ・ 稲武野外教育センターでは、かまどでの牛乳パックの燃焼や、飯ごう内のアルミホイル敷きは禁止です。また、スス付着予防のために、火にかける前に飯ごうや鍋の外側に洗剤塗布することも禁止しています。
- ・ 紙皿(スチロール可)・スプーン・湯のみは、学校から持参してもかまいません。喫食後の持参したカレー皿・スプーン・湯のみは、センターで処分できます。
- ・ キャンプ場での給茶は、「稲武茶屋」で作った茶を、やかんで配付してください。
- ・ 「野外炊事備品点検表(P)」は、学校の状況に応じて活用してください。
- ・ バナナ以外の1号食を夜食に残すことは厳禁です。食べ切るか、必ず残飯処理してください。 また、1号食のバナナは当日中に食べさせてください。夜食に代用する場合は、「野外活動申請書」で事前連絡をお願いします。
- ・ 準備から後片付け終了まで4時間以上必要です。秋季は日没が早いため、開始時刻の設定に配慮してください。
- ・ かまどの火のおこし方、カレーの作り方などを最新版の「利用の手引き」で確認し、しおりの内容を最新の情報に直しておいてください。



1

。

に

一

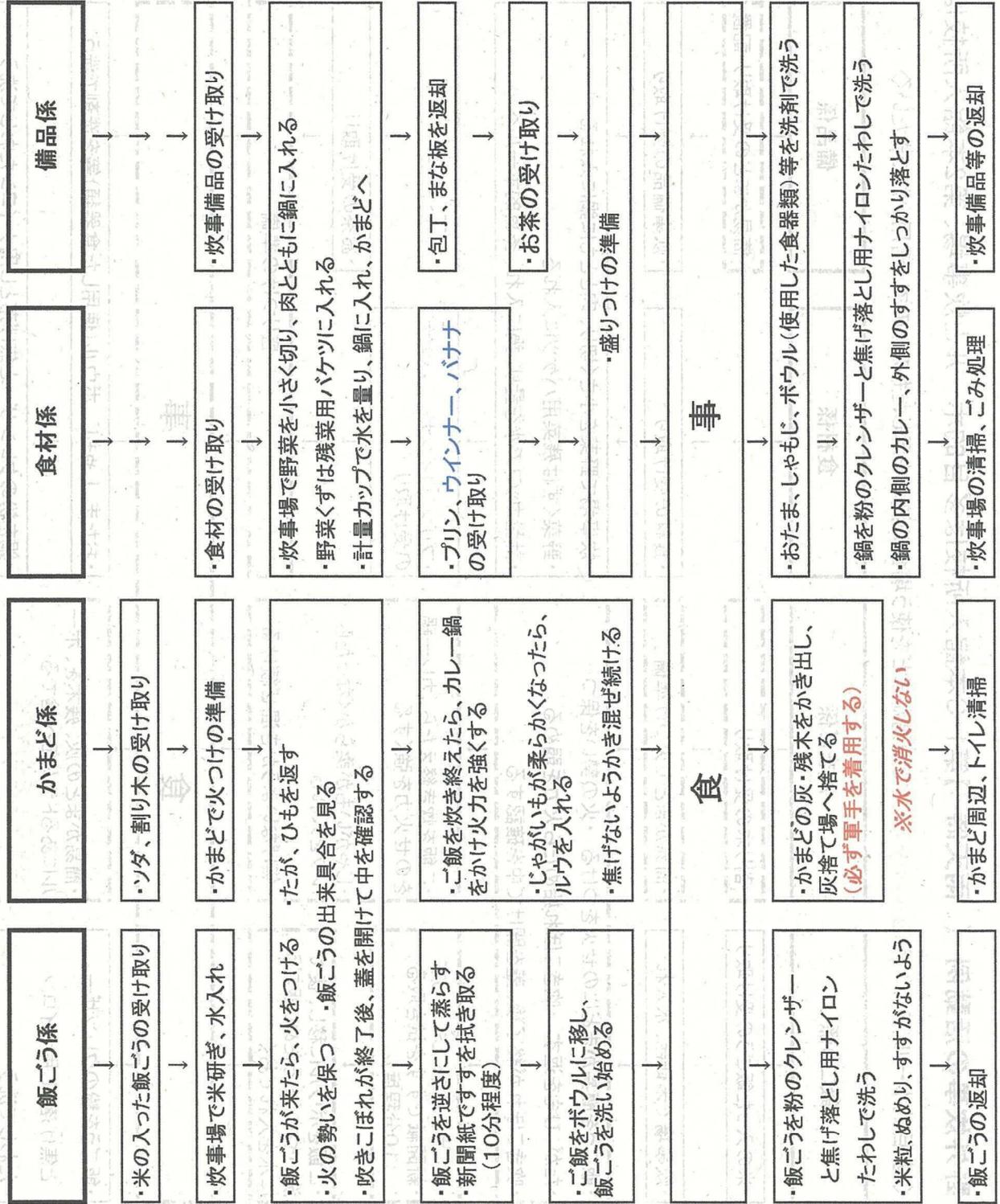
た

込

容

野外炊事の活動例【晴天時】第1・3、第2入所校ともキャンプ場で実施

◇活動の流れの一例を示したもので、学校の状況に合わせて活用いただきたい◇



【キャンプ場のかまど】レンガの枠の上に、鉄網をのせて使用する。



※包丁・まな板は安全面・衛生面から、使用後すぐに洗って返却する

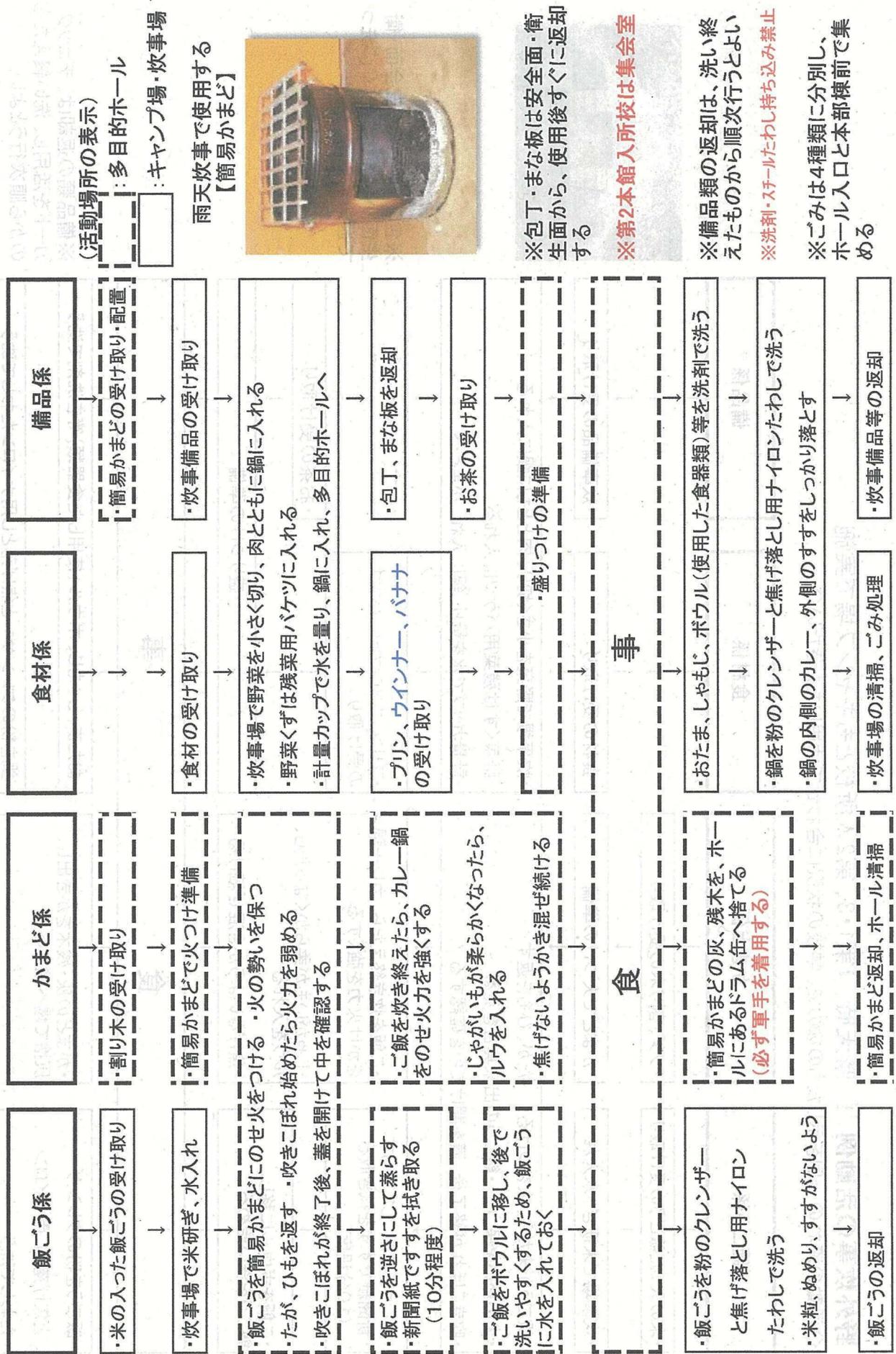
※備品類の返却は、チェックカードを活用し、洗い終えたものから順次行うとよい

※洗剤・スチールたわし持ち込み禁止(厳守)

※ごみは4種類に分別し、本部棟前で集める

野外炊事の活動例【雨天時】第1・3本館入所校は多目的ホールと炊事場、第2本館入所校は炊事場で実施

◇多目的ホール(第1・3本館入所校のみ)で簡易かまどを使う場合の流れを示したもので、活用いただきたい◇



※包丁・まな板は安全面・衛生面から、使用後すぐに返却する

※第2本館入所校は集会室

※備品類の返却は、洗い終えたものから順次行うとよい

※洗剤・スチールたわし持ち込み禁止

※ごみは4種類に分別し、ホール入口と本部棟前で集める

《 野外炊事 備品点検表 》

組	班	名
(生徒 名 + 先生)		

備品係 氏名: _____

備品係 氏名: _____

☆ 包丁・まな板は、使用後洗ってすぐに返却し、チェックを受けましょう ☆

	借用備品名	数量	貸出チェック	返却チェック
①	包丁			
②	まな板			
③-1	飯ごう(ふた)			
③-2	飯ごう(ふた)			
④	ポウル			
⑤	しゃもじ			
⑥	なべ(ふた)			
⑦	おたま			
⑧	火ばさみ			
⑨	やかん(ふた)			
⑩	かご(赤色)			

※ 学校から下の⑩～⑫を持参している場合は、チェックの必要無し

⑪	カレー皿			
⑫	スプーン			
⑬	湯のみ			

キャンプファイヤーの確認内容

野外教育の意義を踏まえ、雨天時以外原則、「水の広場」や「杉の子広場」でキャンプファイヤーを行うよう計画を立ててください。(H29年度より)

◎実施するにあたって

○実施場面

1日目又は2日目の夜。 ※必ず、同時入所校で調整

○実施場所

【晴天時(原則)】水の広場、杉の子広場 【雨天時】多目的ホール

○座席(ざら板)

- ・危険防止のため營火台からの距離を十分に取る。
- ・風向きに注意し、風下側は特に配慮する。なお、ざら板(180cm×30cm)は1枚3～4人で使用する。

○井げた

- ・井げた組みは、15:30～16:00までに開始できるよう計画する。具体的に点火の方法を承知している担当教員がセンター所員の補助で組む。担当教員は後片付けまで責任をもって行う。また、井げた組みと後片付けを担当する教員は、必ず同一の方にしてください。
 - ・点火方法は、安全を考えトーチ棒による点火を原則とする。なお、トーチ以外の点火方法の場合は、下見時に伝えたくうえで、「野外活動申込書」に記載する。針金による落下点火方法は厳禁。
 - ・トーチ棒の消火で使った水は、所定の場所(所員が説明)に処理する。
 - ・用意した井げたの薪で2時間は行える。燃え進むに従い、井げたの上部の木から1本ずつ井げたの中に入れながら燃やしていくとうまくいく。(最後に最下段が残るぐらいがベスト)
 - ・灯油(通常1缶8L、予備1缶8L)は無駄遣いせず、残った灯油は、終了後すぐに指定された場所に返却。絶対に火の中に投げ込まない。点火した後の井げたに灯油をかけることは厳禁。(大やけどの危険大)
- ※雨天で多目的ホールで実施したときは多目的ホール内左倉庫に返却。

○ファイヤーロード

- ・固形燃料又はLEDを使用する。固形燃料を使う場合は必ず空き缶を使用。
- ・空き缶や固形燃料のアルミは、必ず学校に持ち帰る。(厳守)

○トーチトワリング

- ・着火したトーチの使用は禁止。ケミカルライト等を使用し、演技中に抜けないよう、確実に固定してあるかを必ず教員が確認しておく。
- ・一度に20人を超える場合は、十分な広さを確保し、隊形を含め安全面を確保する。井げたと見ている人との間で演技は行わない。
- ・使用済みのケミカルライトは、必ず学校に持ち帰る。

◎センターにある用具等

○道具等

- ・営火台と薪一式
- ・火文字用網(約1m×約2m)2組
- ・バケツ(灯油用・消火用)
- ・放送機器(CD・USB・SDカード、Bluetooth対応機器)

※ 下見時に、CD等音源を持参して動作確認をしてください。

※ 電気容量の大きいPA(音響拡声装置)や高輝度ライト等の持込みは禁止。

○学校に貸し出す物(井げた組みのときにお渡しします。)

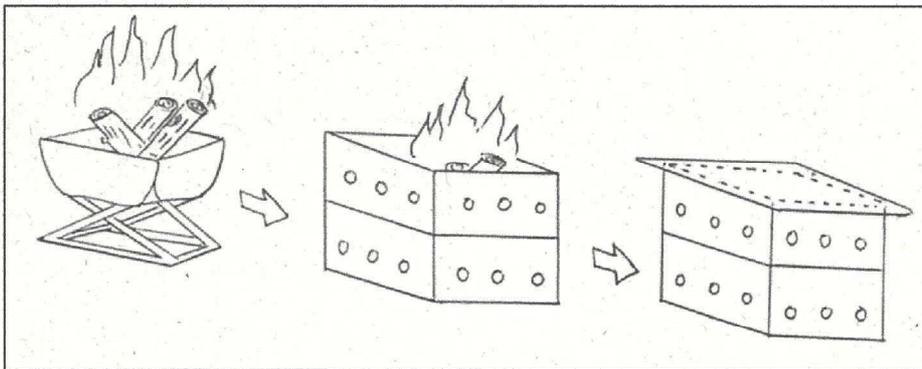
- ・ワイヤレスマイク2本
- ・灯油ポリタンク1缶(8L)

※ 第2本館入所校がホールを使う場合も、所員が持参します。終了後は、学校が第1本館事務所へ返却してください。

◎終了後について

○営火台の処理

- ・営火台の上で井げたの残木を寄せ集め燃やし続ける。※灯油はかけない。
- ・燃やしたままの状態、カバーをかぶせる。(翌朝まで燃やし続ける)



灯油はかけずに、燃やし続けてね。



○後片付け ※翌朝、ハイキングや野外活動を実施する前までに実施

- ・営火台の燃え残りの残木 → 灰捨て場横のドラム缶の中
- ・残灰 → 灰捨て場 ※営火台も片付ける。
※多目的ホールでの実施校は水の広場の灰捨て場
- ・ざら板は汚れを落として、元の位置に積み重ねる。
※多目的ホールで実施した場合は、ブラシがけ・トイレ清掃も行う
- ・マイクは、キャンプファイヤー終了後すぐに次の場所に返却する。
◇水の広場または多目的ホールで実施…第1本館事務室
◇杉の子広場で実施…第2本館事務室
- ・各ファイヤー場には、手洗い用の洗剤がないので、必要であれば学校で準備する。

◎お申し込みの際の用意するもの

◎用意するもの

・火台一式

・火文字用紙(縦2m×横1m)2組

・ハイマックス(消火用)

・放送機器(CD・USB・SDカード、Bluetooth対応機器)

※下見時にCD音源を持参して動作確認をしてください。

※お申し込みの際は、お申し込みの人数に合わせたお申し込みをお願いします。

◎学校に貸し出す際(井戸の組み立て)のお願い

・ハイマックス(消火用)一式

※第2本館入所者がハイマックス一式を持参して参観をお願いします。

学校が第1本館事務所へ返却してください。

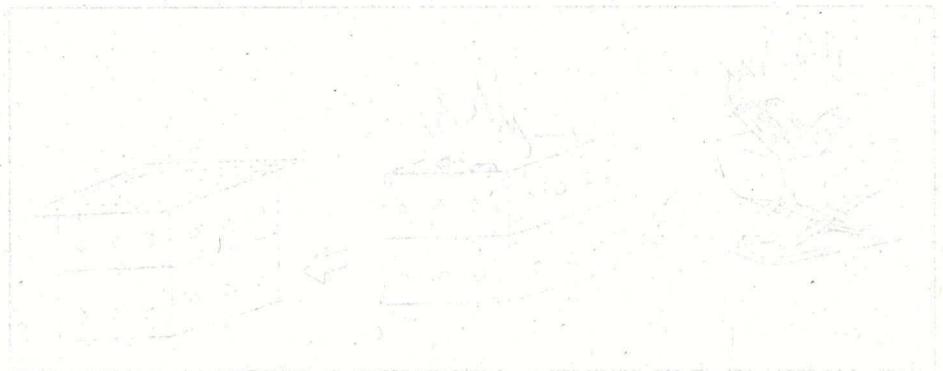
◎お申し込みの際のお願い

◎火台の準備

・火台の準備は、お申し込みの際の準備をお願いします。

・お申し込みの際、お申し込みの人数に合わせたお申し込みをお願いします。

お申し込みの際、お申し込みの人数に合わせたお申し込みをお願いします。



◎お申し込みの際のお願い

・火台の準備は、お申し込みの際の準備をお願いします。

・お申し込みの際、お申し込みの人数に合わせたお申し込みをお願いします。

※お申し込みの際、お申し込みの人数に合わせたお申し込みをお願いします。

お申し込みの際、お申し込みの人数に合わせたお申し込みをお願いします。

お申し込みの際、お申し込みの人数に合わせたお申し込みをお願いします。

お申し込みの際、お申し込みの人数に合わせたお申し込みをお願いします。

お申し込みの際、お申し込みの人数に合わせたお申し込みをお願いします。

お申し込みの際、お申し込みの人数に合わせたお申し込みをお願いします。

お申し込みの際、お申し込みの人数に合わせたお申し込みをお願いします。

お申し込みの際、お申し込みの人数に合わせたお申し込みをお願いします。

ハイキング出発時確認内容

◎ ハイキングを計画する際に

- ・ 入所時期の天候、学校の実態等を考慮し、《ハイキングの実施例(P18)》を参考にして、実施日・コースの選択等をしてください。
- ・ 2校が同日に行う場合、コースや出発・昼食時刻等、入所校間で十分に確認しておく。
- ・ 実施前(下見時等)に、コース上の注意を要する箇所を確認し、適切な教員の配置を計画する。(P52「ハイキングコース見取図」参照)
- ・ 軍手、雨具(カッパ)の準備、底の丈夫な履き慣れた靴の着用等、事前の安全指導を確実にしておく。
- ・ 早朝・ナイトハイク及び肝試しはキャンプ場、本館周辺とする。**本館内での肝試しは厳禁**。夜間実施の場合、ごみ等が落ちていないか、翌朝にコースの点検・清掃等が必要。

◎ センターから渡す物

① 連絡用無線機

- ・ 第1・3本館入所校:第1本館交信用4台
- ・ 第2本館入所校:第2本館交信用4台

第1本館交信用1台(第2本館交信用とは交信不可)

※ 学校から無線機や繋がる携帯電話を持ってくると、連絡が取りやすくなる。

注1) 山深いので電波の通じにくい場所がある。電波の良いところへ移動して通信するとよい。

※ 井山展望台、AOLコースポイント6~10付近、他にも気象条件等により電波の悪い場所あり。

注2) コースの一部で無線機間で通話ができない場合は、本館事務室を経由して連絡できる。

② 面ノ木休憩所・井山展望台付近(トイレ)の鍵 → 出発前に、センターがそれぞれの入所校に渡す。(通過後、**各学校で必ず消灯・施錠**)

③ 獣よけ用鈴 → 手に持たせず、ベルトやかばんのループなどに結んであることを**教員が確認**する。

④ 音楽プレーヤー(6台) → **生徒のみでチェックポイントに待機させる場合は、必ず音楽プレーヤーを持たせる。**

【配付例:先頭1台・最後尾1台・OLポイント生徒用4台】

⑤ 氷砂糖 → ハイキング終了後、「空の袋」「残りが入った袋」「未開封」を全て回収する(一カゴにまとめて)。

※ コースにゴミを落とすことが無いように指導する(厳守)。

※ 館内に持ち込み不可。

◎ ハイキングコースの安全配慮について

- センターから面ノ木園地間の県道80号線【東栄稲武線】及び林道の歩行は禁止、必ずハイキングコースを歩く。
(AOLコースポイント4・5付近、BOLコースのゴール地点の横断時は除く)
- 面ノ木園地付近での県道横断時では、車が高速で通過することがあり、**必ず担当教員を配置し安全確認・誘導等を行う。**

◎トイレについて（面の木休憩所・井山展望台付近）

○水の使用について

- ・自然の水をタンクに貯めて流しているのので、節水を心掛ける。
 - ・タンク貯水に時間が必要なので、使用前に不要な水は流さない。
- ※ 多人数が続けて使用する場合、タンクに水が貯まるまで流せなくなるので注意。

○施錠について

- ・本センター入所校専用のトイレ施設なので、使用後は、男子用・女子用とも、一般の方が使わないように必ず各学校ごとに責任をもって施錠する。（鍵には男女の表示はしていない）

※ 面ノ木休憩所（面ノ木園地には無い）については、裏（女子用）の扉が開いていたり、照明がついたままになっていたりしないかも確認する。

◎途中リタイヤ生徒の搬送について

- 必ず、無線で「クラス名・氏名」を第1本館または第2本館に連絡。

- 原則として一番近い林道、県道まで出て待機。

【AOL:ポイント4・5 BOL:ポイント3 B:面ノ木～井山の舗装路、林道（第2キャンプ場上・分岐点）】

- ※ ただし、骨折等で動けない状態の場合は、無理させずその場でセンター所員の応援を待たせる。

- 他にリタイヤ生徒がいないかを確認

- ※ 緊急性の有無により、リタイヤポイントを全生徒が通過するのを待たせる場合有り。

- 迎えに行く場所（ポイント名など）、人数、送る場所を連絡

- ※ 迎えに行く場所で、必ず教員が待機する。また、リタイヤ後の教員の配置も計画しておく。

- 体調不良となったリタイヤ者は、その後、医師による診断ができないので本館待機・昼食とする。昼食・写真撮影場所等への搬送は行わない。

※ センター以外の車で勝手に搬送しない。

- 昼食場所へ運ぶ弁当数の変更も必ず連絡してください（10:30まで）。

◎ハイキング時のペットボトル等の運搬に関する確認事項

- ペットボトル等学校が用意した物をセンターの車で運搬することはしない。

- ※ 風上げに必要な物品に限り、センターの車で運搬する。

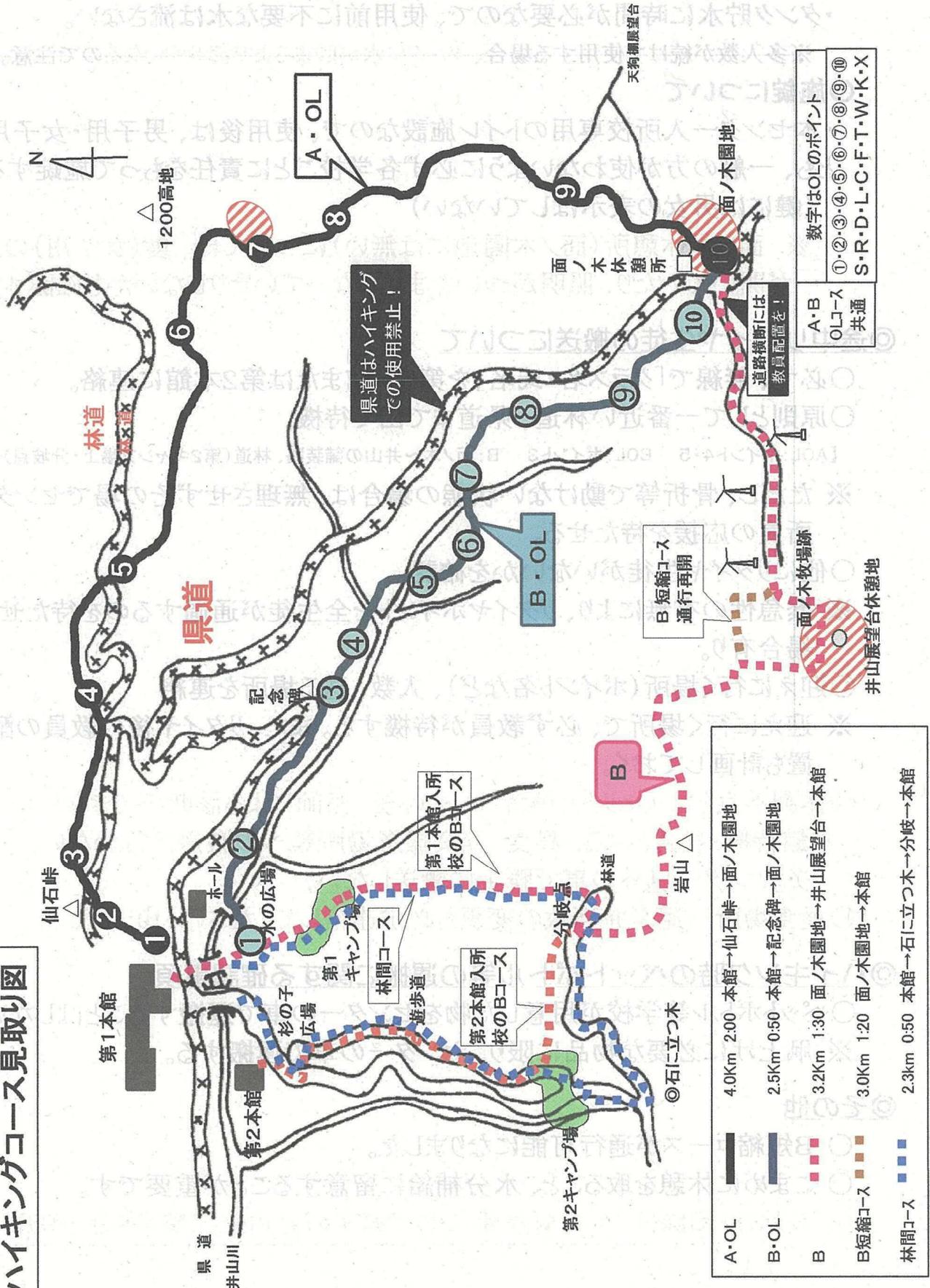
◎その他

- B短縮コースが通行可能になりました。

- こまめに休憩を取ること、水分補給に留意することが重要です。

- 日除け・雨除け、ハチ対策用に必ず帽子の着用を。（特に6月～9月）

ハイキングコース見取り図



魚(マス)つかみについて(魚焼き)

◎ 実施場面

2日目または3日目の午前。 ※必ず、同時入所校で調整

※ 実施にあたっては、「魚をさばく」「魚を焼く」「川での生徒管理(複数)」「全体の指示・管理」等5・6人の教員配置が必要です。

※ 5月初旬以前・10月以降は、大変水が冷たいので、十分配慮してください。

※ かかとが固定できるサンダルか靴を必ず履かせ、素足で川に入らせないでください。

◎ 活動場所(原則)

・第1・3本館入所校 → 水の広場下流(水の橋～星の橋間)

・第2本館入所校 → せせらぎ広場上流(中央橋～せせらぎ橋間)



◎ 道具【センター所員が参加人数に応じた必要数を活動場所に準備する。】

- | | | | |
|---------------|-----------|---------------------------|-----------------|
| ①マス焼き用ドラム缶かまど | ②割り木 | ③新聞紙(各校で用意) | ④魚はさみ(トング:26cm) |
| ⑤マス焼き用金網 | ⑥マス待機用網カゴ | ⑦小刀(各本館で貸し出し。使用後、各本館へ返却。) | |

○ 学校・生徒が準備するもの

・軍手 ・かかとのとまるサンダルまたは靴 ・焼いた魚をのせる新聞紙や紙皿、はし ・塩

※ 塩は、500gで60円(150匹分)で購入可。入所打合せ時に事務室へ支払う。(振込可)

※ 参加人数分注文しても全員が捕まえられるとは限らない。参加生徒数より多めに注文するか、魚の一部を網カゴに残しておくとい。

1 活動前

前日に、センター所員が、担当教員に各活動場所で魚止め(網)の設置・火おこし等の説明をします。「野外活動申込書(P8・11)」に説明開始日時(15:30～16:00)を記入してください。

2 実施・中止の連絡

- ① 開始時間の2時間30分前までに、実施の有無および魚の注文数を、各本館の事務室に連絡する。 ※午前実施の場合は、午前6時30分までに。
- ② 天候の変化が予想される時は、生徒の荷物を多目的ホール又は工房3に置いてよい。

3 担当教員が、魚止め(網)を設置する(前日に、センター所員より事前説明あり)。

※ 魚止め(網)は、はずれやすいので、生徒が触れないようにさせる。

4 代金の支払い等

- ① 魚の代金は活動開始時刻の約15分前に、活動場所にて業者に現金で支払う。
(1匹250円、50匹未満は輸送代が3000円)
- ② マスの放流も担当教員が行う。代金支払い後、業者とマスの置き場所を確認し、魚を網カゴへ運搬する。

※ 網カゴは、放流後には川から上げ、活動前に置いてあった場所に戻しておく。

★マスを一旦網カゴに入れておくのか、直に川へ放流するのか、学校で工夫する★

◎活動開始

1 火の準備 (開始の40分以上前に、火をおこし始める)

- ① ドラム缶かまど又はレンガづくりのかまどで、魚焼き用の火をおこす。
- ② 燃やし始めの火(炎が上がっているだけの状態)では、魚の表面だけが焦げ、中味は半焼けのままになる。
- ③ 割り木を、十分燃やし、**おき火**になってから魚を焼き始めるようにする。

2 マス焼き

- ① 小刀を使って腹を裂き、内臓を取り出す。
 - ② 塩を魚の表面にふりかける。(付けすぎないように)
 - ③ 魚を網にのせ、魚はさみ(トング)を使い側面を返しながらかく。
- ※ 魚焼き用にアルミ箔は使用しないでください。

《網で塩焼き》



◎活動終了(片付け)

- 1 使用した道具類(洗い場の板・内臓受けの網・小刀・金網、魚はさみ)は水洗いする。
 - 2 魚の内臓や食べ残し、紙類等の可燃物は、指定のゴミ袋に入れる。(センター所員の指示有)
 - 3 ドラム缶の残炭は、燃え尽きてから広場の灰捨て場に捨てる。
- ※ 時間がなく、燃え尽きていない場合は、センター所員が処理を行う。

魚つりについて

◎実施場面

2日目または3日目の午前。**※必ず、同時入所校で調整**

◎実施場所(原則)

- ◇ 第1・3本館入所校 → 水の広場上流(水の橋より上流)
 - ◇ 第2本館入所校 → せせらぎ広場下流(せせらぎ橋より下流)
- ※ 魚つかみの活動場所では絶対行わない。**
※ 釣り竿はセンターで用意します(1校当たり50本)。
餌・仕かけ等は、学校で準備してください。



◎その他

- 魚を注文する場合は「魚つかみ」と同じ欄に記入してください。
- **魚つかみ同様、前日にセンター所員から説明があります。**
- 魚の持ち帰りはできません。リリースまたは、「魚つかみ」同様の喫食になります。喫食の場合は「魚つかみ」同様の準備が必要になります。
- P55「釣りの仕かけ」に、仕かけ作りの簡単な説明があります。

星の観察

◎実施場面

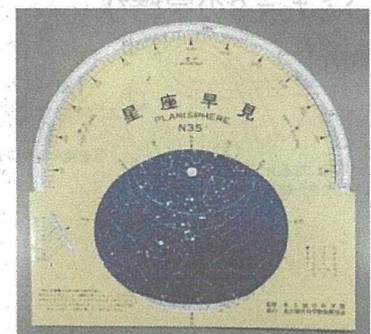
1日目又は2日目の夜。

◎実施場所(原則)

- ◇ 月の広場、杉の子広場等

◎その他

- 星座早見盤は、最大300部貸出しが
できます。(実施校が1校の場合)
- 天体望遠鏡はセンターにはありません。学校で用意してください。

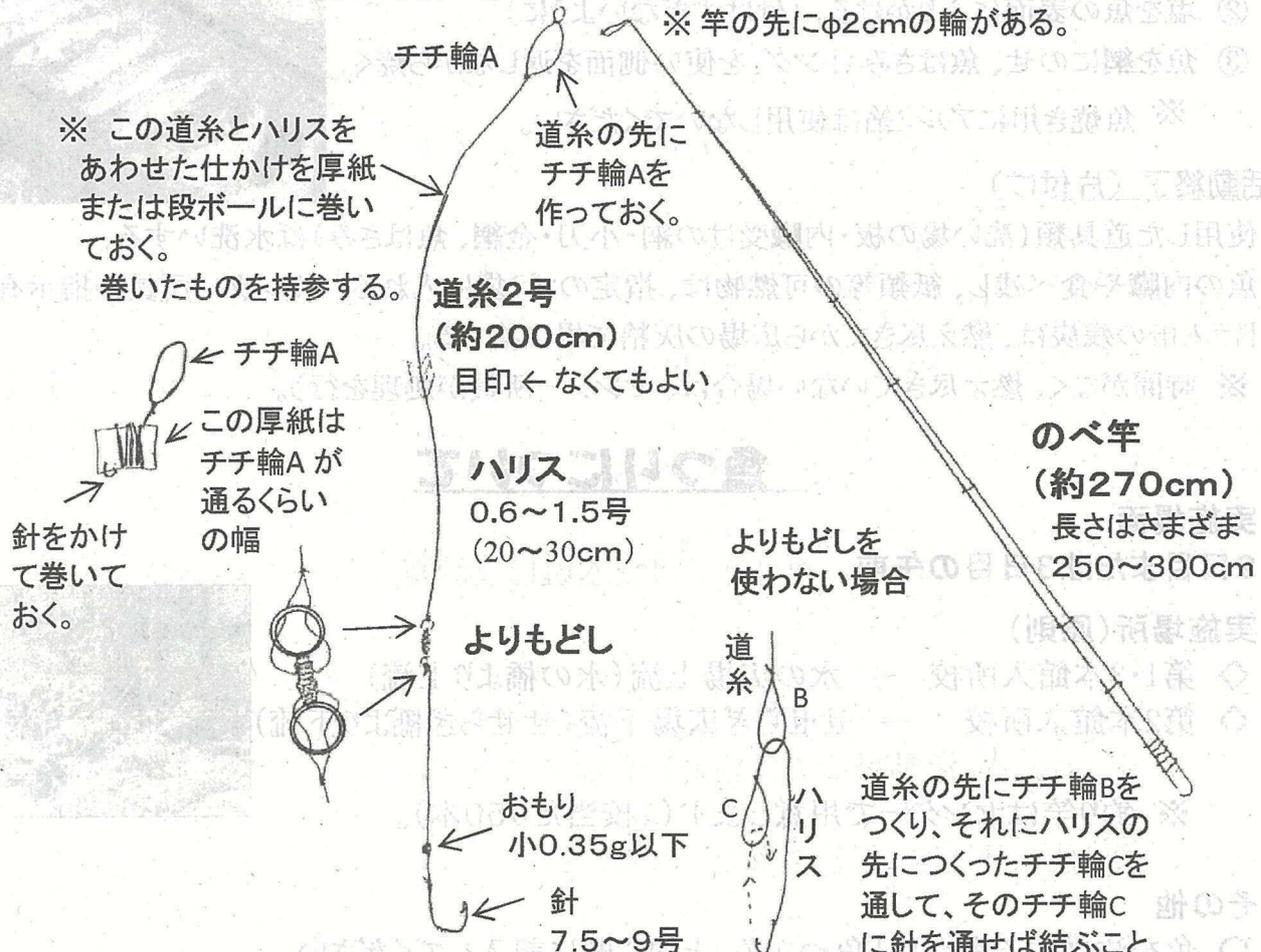


魚釣りの仕かけ ~ ニジマス釣りの簡単な仕かけに挑戦してみよう ~

※ のべ竿(約270cm)はセンターにある。第1・3本館用50本、第2本館用50本

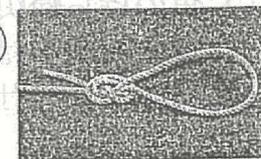
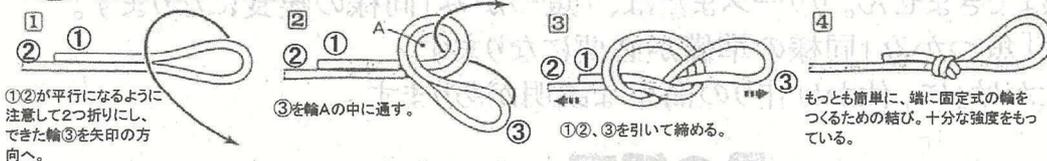
各自の準備
 釣り糸(道糸)2号(約200cm)、 ハリス1.0~1.5号(20~30cm)、
 おもり(小0.35g以下)、 針(7.5~9号)

作り方参照図 ※学校で事前につけておこう。

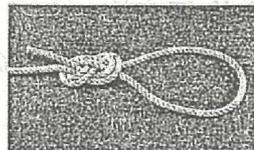
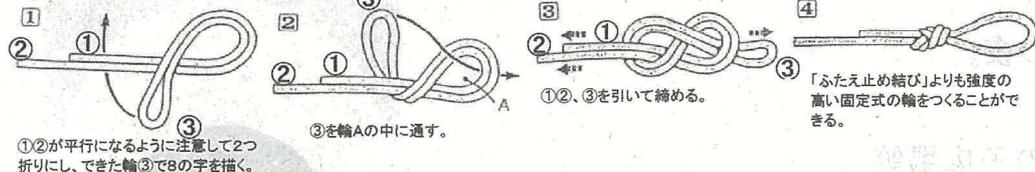


子子輪のつくり方(2例)

ふたえ止め結び



ふたえ8の字結び



〈餅つき〉について

1 活動日 「2日目」又は「3日目の午前」

初日の夜食用に実施する場合は、到着後すぐに水につけておかなければならないので、日程的に大変慌ただしくなる。餅米を水に浸す時間が6時間以上必要なため到着直後の実施は不可。

2 活動場所 第1・3本館入所校→第1本館1階ピロティ
第2本館入所校→第2本館前ピロティ



3 活動内容 餅米を洗って水に浸す→蒸す→つく等。1臼(2升)で1学級約40名分。
3臼を2回に分けてつくことも可。

※ 取り分ける餅の大きさにより人数の増減が可能

4 道具(センター所員が使い方や進め方について説明)

臼	1~3	バケツ	1式	蒸し布	1式
キネ	1~3	ザル	1式	シャモジ	1~3
蒸し器	1~2(3臼分)	バット	1式		
ガスコンロ	1~2(3臼分)	ボール	1式		

※ 学校で使い捨てるの小皿、はしを用意する。使用後の、小皿、はしはセンターで処分する。

5 その他

- ・ 餅つき担当教員が説明を受ける時間を計画に入れておく。

※ 2日目に実施の場合は1日目に、3日目に実施の場合は2日目に説明を受ける時間を設定

- ・ 同時に臼の数以上餅をつく学校は相手校と調整しておく。
- ・ 餅米、小豆・黄粉は事務室で受け取る。
- ・ 餅米を水に浸した後は必ず実施する。

◎ 材料及び費用: 申込により実費 ※ 現金または振込(手数料学校負担)での支払い

小豆餅1臼(約40名分) **2,500円** (餅米2升**2,000円** 小豆**300g500円**)

黄粉餅1臼(約40名分) **2,300円** (餅米2升**2,000円** 黄粉**200g250円** 砂糖**200g50円**)

《活動の流れ》 ※ 所員が以下の流れについて説明

<3日目の9:00開始の場合>

【前日の準備 …… 教員・生徒で行う】

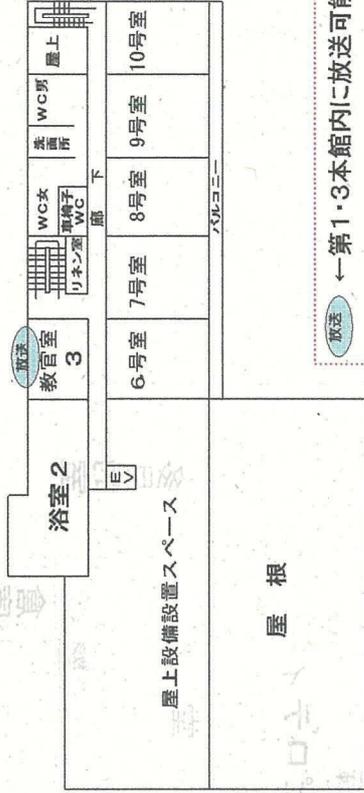
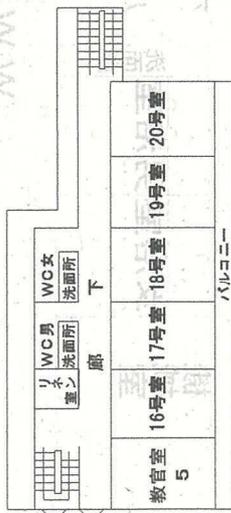
- 担当教員、生徒が餅米を洗米し、バケツの中に1臼分の餅米を入れ、6時間以上水につけておく。 ※ 1臼に2升(1升=約1.4Kg)の餅米

【当日の準備及び実施 …… 教員・生徒で行う】

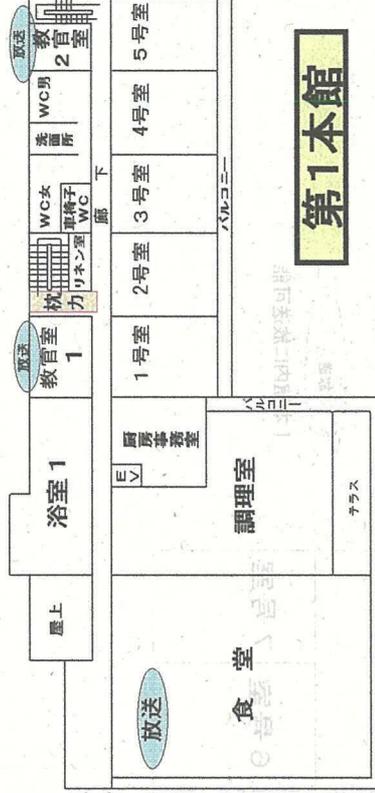
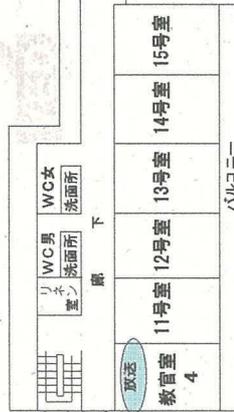
- ① ピロティでザルを使って餅米の水を切り、蒸し器の中へぬれた蒸し布を敷き、餅米を入れる。 ※ 蒸し器の1段目に水を、2段目(3段目)に蒸し布・餅米をセットする。
- ② ガスコンロにかけて約1時間蒸す。←【餅つき実施の1時間前に点火】
※ 2臼の場合、25~30分で蒸し器の上下の段を入れ替える。
※ 餅米を指先でつまみ、つぶれる状態であれば、餅をつくことができる。
- ③ バケツ(キネを入れる)に水を入れ、シャモジを用意する。この間に臼を洗っておく。
※ キネが十分ぬれていないと餅米がくっついてしまうのでキネは水につけて水をたっぷり吸わせておく。
- ④ 餅米が蒸せたら直ちに臼に移す。
※ 餅米が冷めると米がボロボロになるので注意する。
- ⑤ シャモジで餅米を臼の中央にまとめながら、キネで餅米をつぶしながら練る。
※ 餅米が飛び散らないように気をつける。
- ⑥ 餅米をキネでつく。 ※ 手返しする人の水加減で餅が固くも軟らかくもなる。
- ⑦ つき上がった餅をボールに移し、人数分に餅をちぎり、小豆や黄粉をつけてバットに入れ、使い捨ての小皿、はし等(学校持参)を利用して食べる。
※ 時間がたつと餅が固くなるので注意する。
- ⑧ つき終わった臼の中へ湯を入れておくと、後の清掃がしやすくなる。
- ⑨ 餅つき終了後、道具を洗い、清掃して元の場所に返却する。

※ 1臼で2回つくことも可能。1回の時間(上記の④~⑦の工程)は30分程度と考えておく。餅米は、同時に蒸し始める。

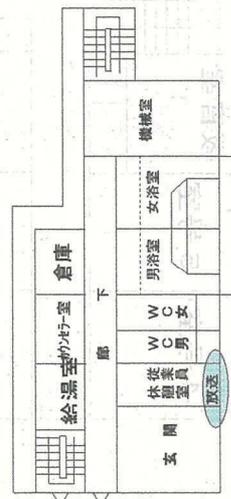
第1・3本館 館内図



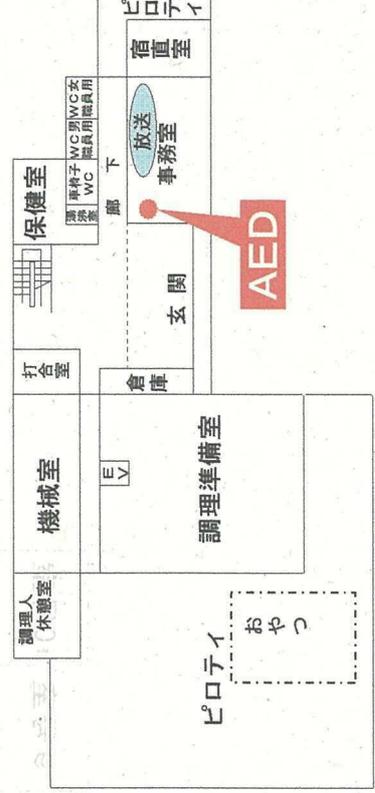
放送 ← 第1・3本館内に放送可能



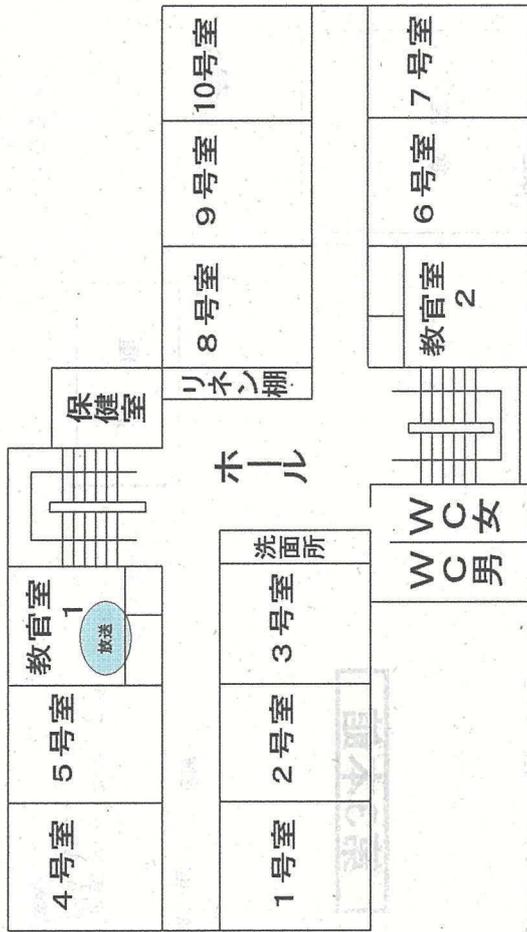
第3本館



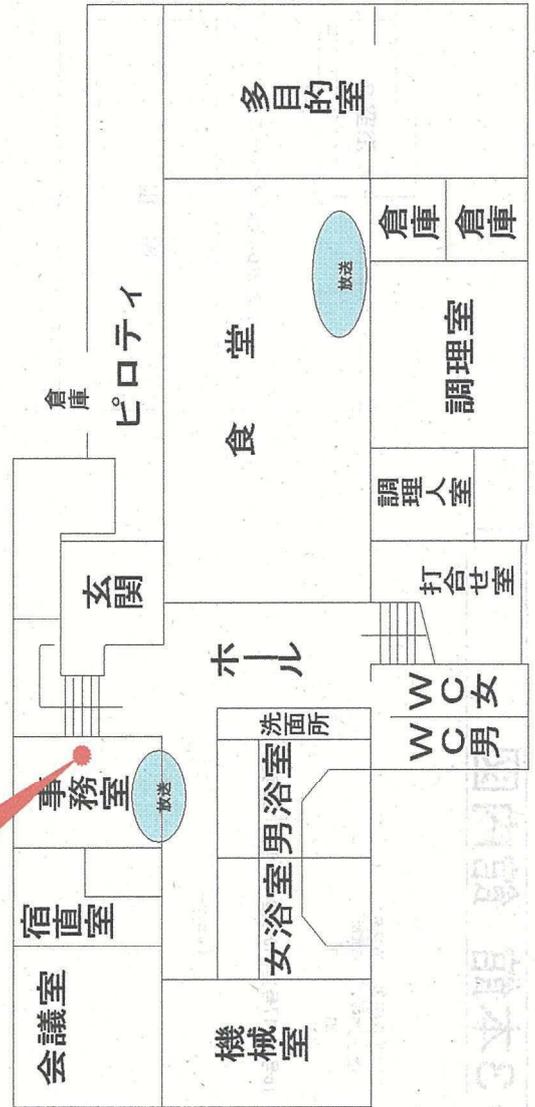
第1本館



第2本館 館内図



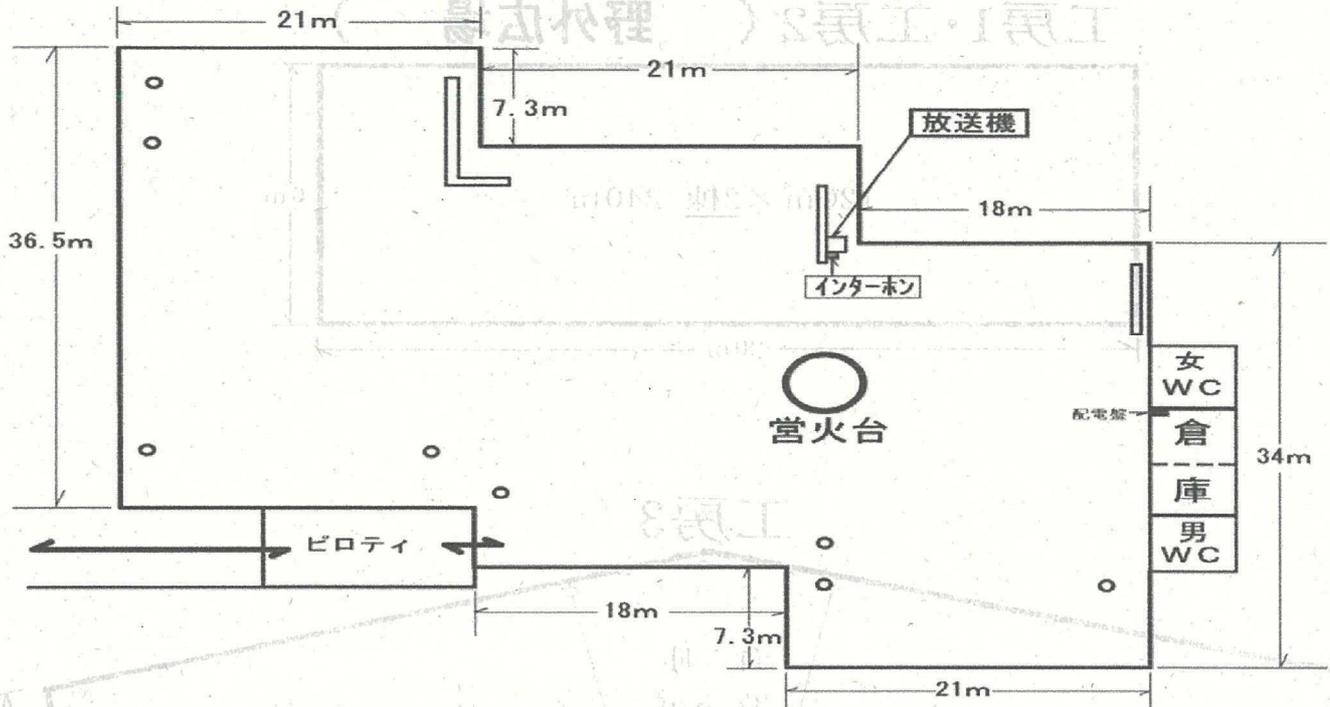
2階



1階

多目的ホール平面図

図面平 室会兼・工各

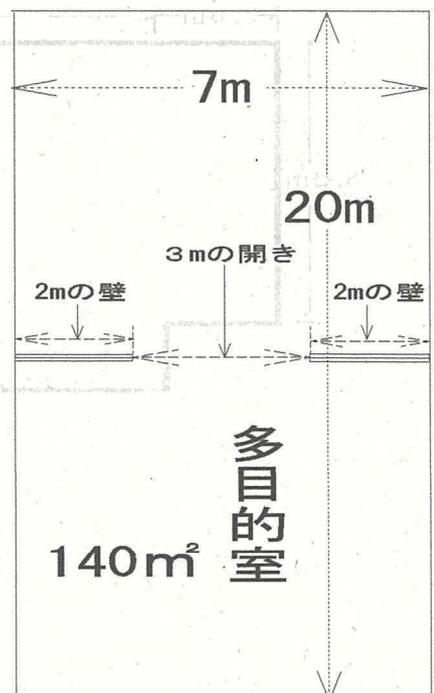


構造
建築面積

鉄骨平屋建	雨天集会場	= 2,023 m ²
ピロティ		= 106 m ²
附属建物		= 79 m ²
合計		= 2,209 m ²

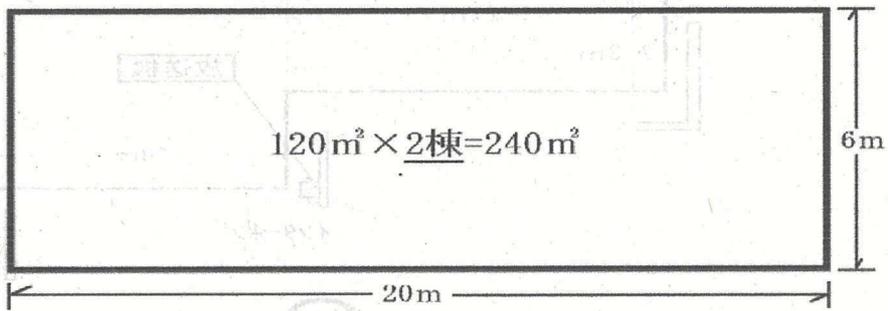
第2本館の多目的室平面図

第1・3本館の多目的室平面図

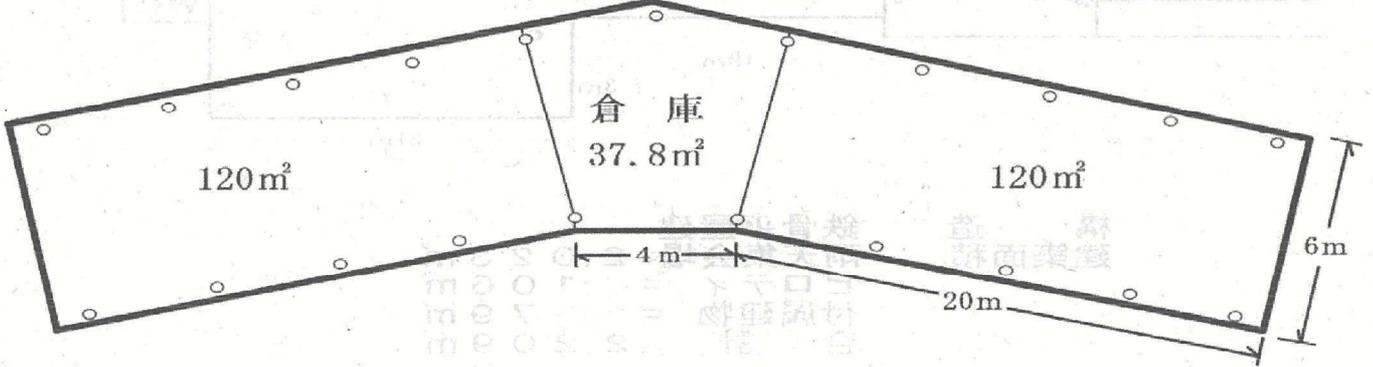


各工房・集会室 平面図

工房1・工房2 (野外広場)



工房3



集会室 (第2キャンプ場内)

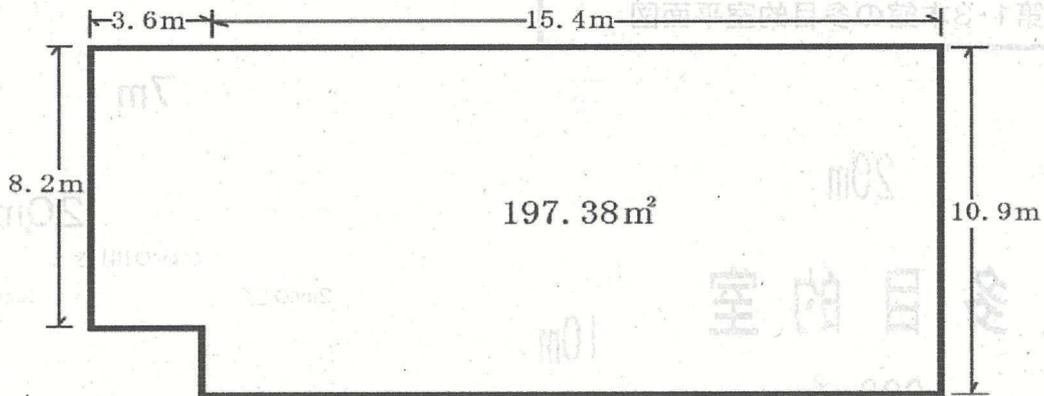
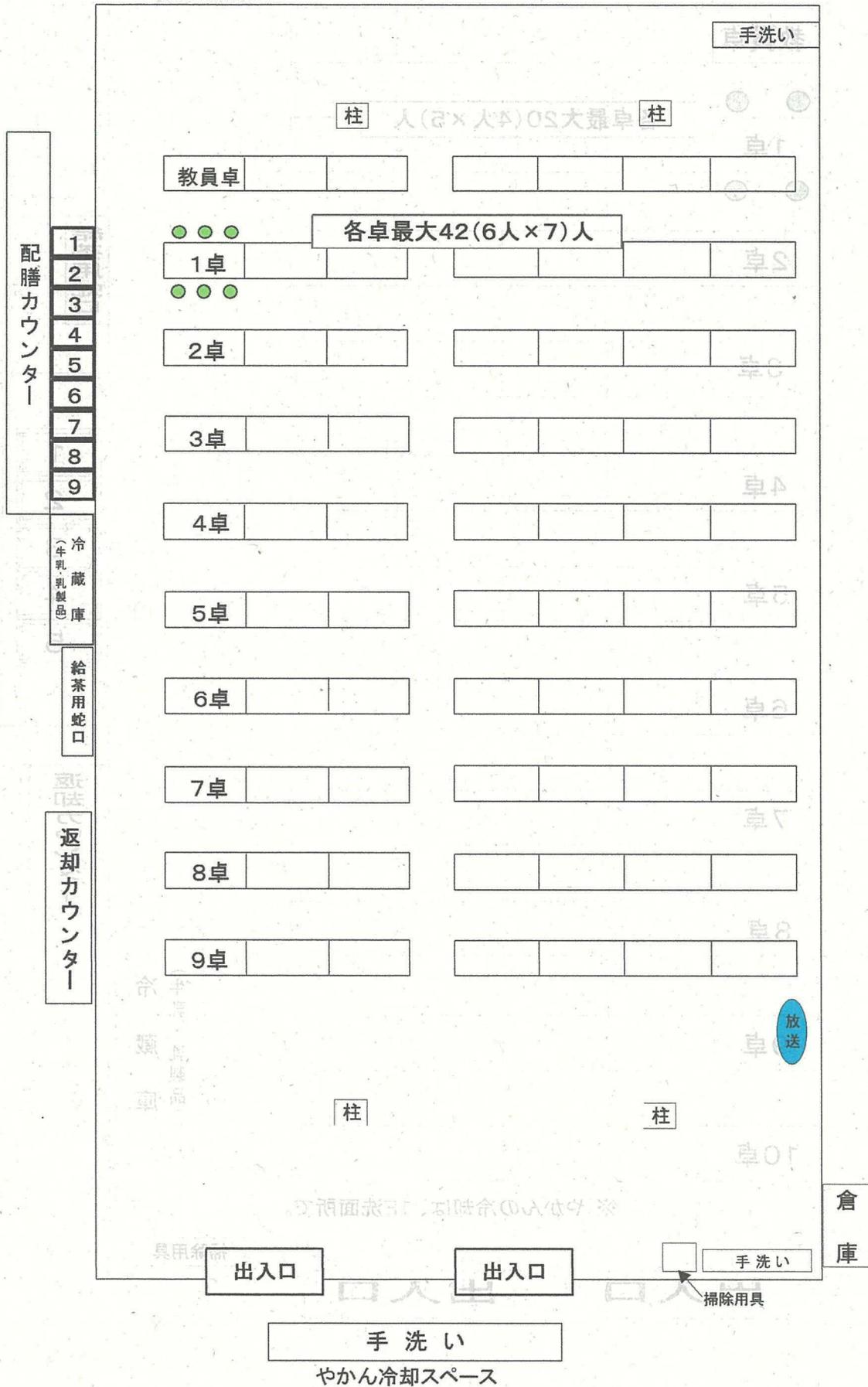
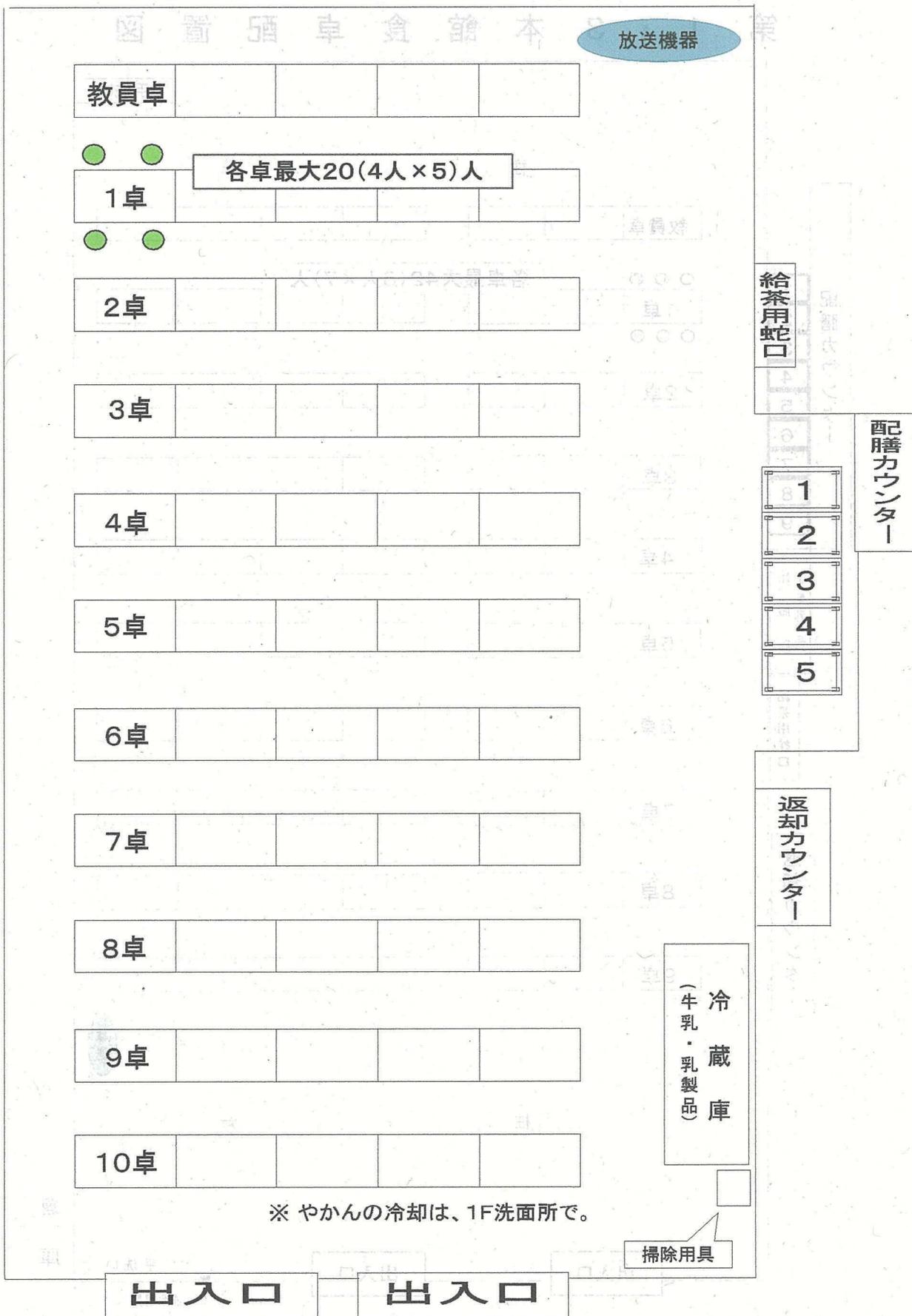


図 第 1・3 本館食卓配置図



第 2 本 館 食 卓 配 置 図



気象データ 【10年間(平成27～令和6年)平均 稲武センター】

月	晴天率%	気温℃	最高℃	最低℃	湿度%	降水量mm
4	上旬	6.8	12.7	4.8	75.4	8.8
	中旬	8.3	14.1	5.8	75.5	8.1
	下旬	10.6	16.6	7.8	73.3	7.7
5	上旬	12.0	17.8	9.2	70.5	7.0
	中旬	13.4	19.2	11.1	75.6	11.4
	下旬	15.0	20.9	12.6	74.2	7.4
6	上旬	15.4	20.7	13.1	76.2	7.5
	中旬	16.7	21.1	14.8	78.2	6.9
	下旬	18.2	22.9	16.6	80.1	8.8
7	上旬	19.9	24.1	18.8	82.8	20.5
	中旬	21.0	25.4	19.2	80.8	10.1
	下旬	21.4	26.7	20.0	81.5	6.0
8	上旬	22.5	28.5	21.2	79.9	7.1
	中旬	21.9	27.0	20.8	81.1	16.6
	下旬	21.1	26.3	19.9	83.0	11.5
9	上旬	20.1	24.9	18.8	81.6	16.6
	中旬	18.8	24.5	17.6	81.6	10.4
	下旬	16.9	22.2	15.6	82.0	7.4
10	上旬	14.6	20.3	13.4	82.4	11.4
	中旬	12.0	18.3	11.2	82.6	6.3
	下旬	9.2	15.9	7.8	80.0	6.2
11	上旬	7.7	15.1	6.2	80.8	3.8
	中旬	6.0	12.5	4.7	81.8	4.3
	下旬	4.1	10.5	2.8	81.1	4.7

※「気温」は当日午前8時、「最高」、「最低」は前日8時から当日8時までの記録。
 ※昭和62年以降の記録があります。学習等で必要な場合はセンターまでお知らせください。

○センター付近の日の出入り(標高860mを基準)【2025年】

※時刻は、国立天文台天文情報センターのこよみ計算より算出

日時	夜明始	日の出	日の入	日暮終
4月20日	4:38	5:06	18:32	19:00
4月30日	4:26	4:55	18:40	19:09
5月10日	4:15	4:45	18:48	19:18
5月20日	4:06	4:37	18:56	19:27
5月30日	4:00	4:32	19:03	19:35
6月10日	3:57	4:29	19:10	19:42
6月20日	3:57	4:29	19:13	19:45
6月30日	4:01	4:33	19:14	19:46
7月10日	4:06	4:38	19:12	19:44
7月20日	4:13	4:44	19:08	19:39
7月30日	4:22	4:52	19:01	19:30
8月10日	4:31	5:00	18:50	19:19
8月20日	4:39	5:08	18:38	19:06
8月30日	4:48	5:15	18:25	18:53
9月10日	4:56	5:24	18:10	18:37
9月20日	5:04	5:31	17:55	18:22
9月30日	5:12	5:38	17:41	18:07
10月10日	5:19	5:46	17:27	17:54
10月20日	5:28	5:55	17:14	17:41
10月30日	5:36	6:04	17:03	17:30
11月10日	5:46	6:14	16:53	17:21
11月20日	5:55	6:24	16:47	17:16

※「夜明」「日暮」は、太陽が昇る前、又は沈んだ後の、すぐには暗くならず明るい状態がしばらく続く時間帯のこと。

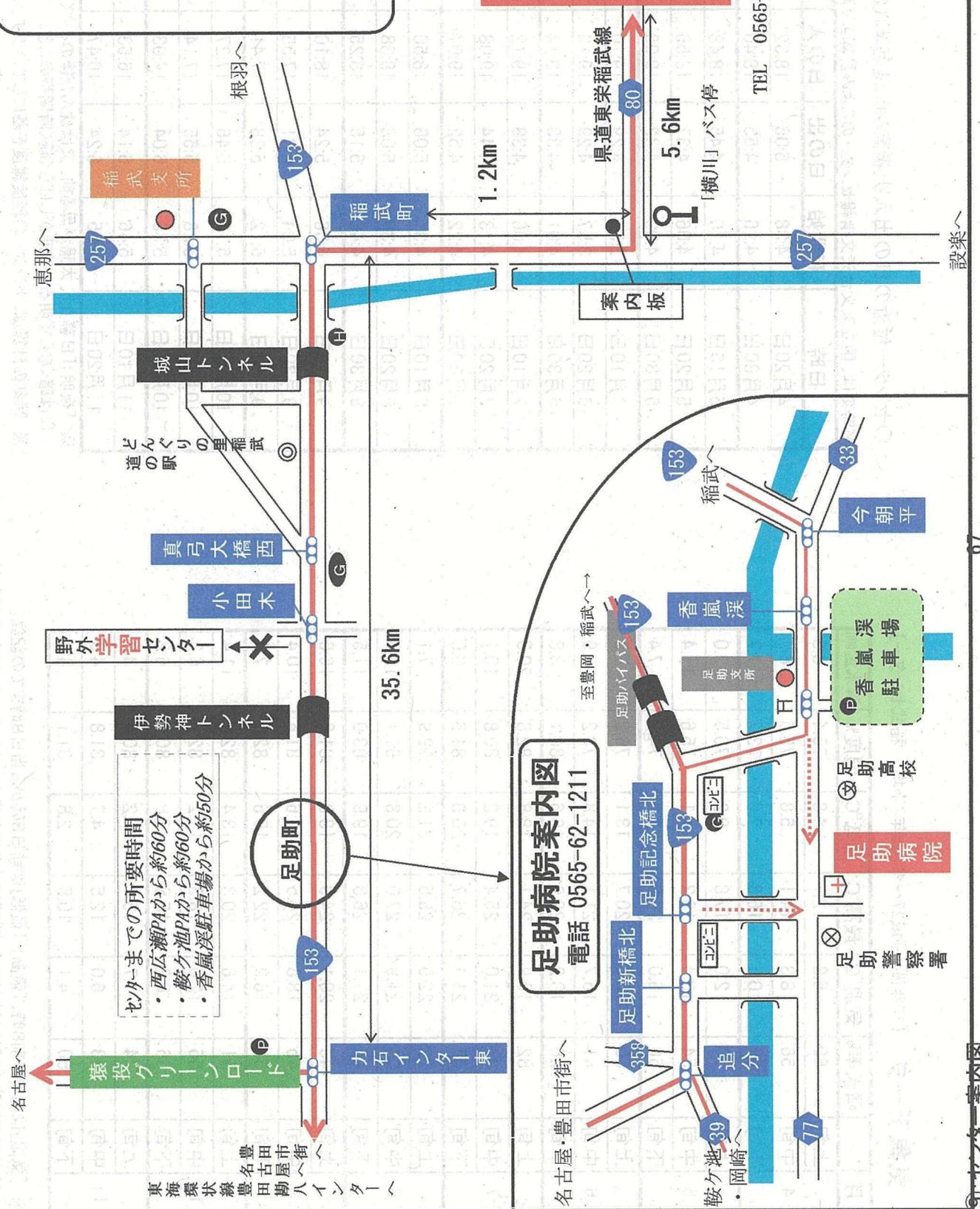
※時刻の計算は、センターの経度緯度を基にしています。

★緊急時の生徒の迎え等にご活用ください。

稲武野外教育センター 案内図

稲武野外 教育センター

TEL 0565-82-2250



名古屋へ

豊田
名古屋街へ

東海環状線
豊田
名古屋街へ

猿投グリーンロード

カ石インター東

追分
岡崎へ

足助町

伊勢神トンネル

野々学習センター

小田木

真弓大橋西

香嵐渓
足助支所

今朝平

足助ハイパス

足助新橋北
足助記念橋北

足助警察署

足助高校

足助病院

香嵐渓場

香嵐渓

稲武へ

案内板

1.2km

5.6km

県道東栄稲武線

「横川」バス停

TEL 0565-82-2250

35.6km

足助病院案内図
電話 0565-62-1211

名古屋・豊田市街へ

至豊岡・稲武へ

足助ハイパス

足助新橋北
足助記念橋北

足助警察署

足助高校

足助病院

香嵐渓場

香嵐渓

稲武へ

案内板

1.2km

5.6km

県道東栄稲武線

「横川」バス停

TEL 0565-82-2250

35.6km

足助病院案内図
電話 0565-62-1211

名古屋・豊田市街へ

至豊岡・稲武へ

足助ハイパス

足助新橋北
足助記念橋北

足助警察署

足助高校

足助病院

香嵐渓場

香嵐渓

稲武へ

案内板

1.2km

5.6km

県道東栄稲武線

「横川」バス停

TEL 0565-82-2250

35.6km

足助病院案内図
電話 0565-62-1211

名古屋・豊田市街へ

至豊岡・稲武へ

足助ハイパス

足助新橋北
足助記念橋北

足助警察署

足助高校

足助病院

香嵐渓場

香嵐渓

稲武へ

案内板

1.2km

5.6km

県道東栄稲武線

「横川」バス停

TEL 0565-82-2250

35.6km

足助病院案内図
電話 0565-62-1211

名古屋・豊田市街へ

至豊岡・稲武へ

足助ハイパス

足助新橋北
足助記念橋北

足助警察署

足助高校

足助病院

香嵐渓場

香嵐渓

稲武へ

案内板

1.2km

5.6km

県道東栄稲武線

「横川」バス停

TEL 0565-82-2250

35.6km

足助病院案内図
電話 0565-62-1211

名古屋・豊田市街へ

至豊岡・稲武へ

足助ハイパス

足助新橋北
足助記念橋北

足助警察署

足助高校

足助病院

香嵐渓場

香嵐渓

稲武へ

案内板

1.2km

5.6km

県道東栄稲武線

「横川」バス停

TEL 0565-82-2250

35.6km

足助病院案内図
電話 0565-62-1211

名古屋・豊田市街へ

至豊岡・稲武へ

足助ハイパス

足助新橋北
足助記念橋北

足助警察署

足助高校

足助病院

香嵐渓場

香嵐渓

稲武へ

案内板

1.2km

5.6km

県道東栄稲武線

「横川」バス停

TEL 0565-82-2250

35.6km

足助病院案内図
電話 0565-62-1211

名古屋・豊田市街へ

至豊岡・稲武へ

足助ハイパス

足助新橋北
足助記念橋北

足助警察署

足助高校

足助病院

香嵐渓場

香嵐渓

稲武へ

案内板

1.2km

5.6km

県道東栄稲武線

「横川」バス停

TEL 0565-82-2250

35.6km

足助病院案内図
電話 0565-62-1211

名古屋・豊田市街へ

至豊岡・稲武へ

足助ハイパス

足助新橋北
足助記念橋北

足助警察署

足助高校

足助病院

香嵐渓場

香嵐渓

稲武へ

案内板

1.2km

5.6km

県道東栄稲武線

「横川」バス停

TEL 0565-82-2250

35.6km

足助病院案内図
電話 0565-62-1211

名古屋・豊田市街へ

至豊岡・稲武へ

足助ハイパス

足助新橋北
足助記念橋北

足助警察署

足助高校

足助病院

香嵐渓場

香嵐渓

稲武へ

案内板

1.2km

5.6km

県道東栄稲武線

「横川」バス停

TEL 0565-82-2250

35.6km

足助病院案内図
電話 0565-62-1211

名古屋・豊田市街へ

至豊岡・稲武へ

足助ハイパス

足助新橋北
足助記念橋北

足助警察署

足助高校

足助病院

香嵐渓場

香嵐渓

稲武へ

案内板

1.2km

5.6km

県道東栄稲武線

「横川」バス停

TEL 0565-82-2250

35.6km

足助病院案内図
電話 0565-62-1211

名古屋・豊田市街へ

至豊岡・稲武へ

足助ハイパス

足助新橋北
足助記念橋北

足助警察署

足助高校

足助病院

香嵐渓場

香嵐渓

稲武へ

案内板

1.2km

5.6km

県道東栄稲武線

「横川」バス停

TEL 0565-82-2250

35.6km

足助病院案内図
電話 0565-62-1211

名古屋・豊田市街へ

至豊岡・稲武へ

足助ハイパス

足助新橋北
足助記念橋北

足助警察署

足助高校

足助病院

香嵐渓場

香嵐渓

稲武へ

案内板

1.2km

5.6km

県道東栄稲武線

「横川」バス停

TEL 0565-82-2250

35.6km

足助病院案内図
電話 0565-62-1211

名古屋・豊田市街へ

- ★ 以下の協議・相談等については、入所代表校長(以下、代表校長)が行い、他の参加校長に連絡する。
 - ※ 稲武野外教育については「代表校長」を「各学校長」と読み替える。
- ★ 給食契約会社、バス契約会社への連絡は、義務教育課からの連絡を受け、野外教育課が行う。

1 台風・集中豪雨等発生の場合

- ※ 野外教育センター所在地の警報及び注意報、避難情報等の発令区分(参考)
中津川野外教育センター……中津川市 稲武野外教育センター……豊田市東部
- ※ 稲武野外教育センター入退所については、降雨による県道80号線の通行止め情報にも留意する。

《入所前日》

- ◎ 午後4時30分頃、代表校長は、野外教育センター等から気象情報・道路情報等の情報収集をして、実施について義務教育課野外教育担当(以下、義務教育課)と相談し、方向性を検討しておく。
- ※ 土日祝日等を挟んで入所の場合は、休日の前日(金曜日等)に行う。

《入所日》

- ◎ 午前6時までに、代表校長は、義務教育課と協議し、「予定通り出発」「学校待機」「延期」等の対応を決定する。
- ※ 台風の場合は、進路予報を基に、出発日を待たずに「延期」を決定する場合もある。

【入所日における暴風警報、避難指示・緊急安全確保、特別警報にかかる判断基準】

- 午前6時に名古屋市・野外教育センター所在地のどちらかに発令されている場合……出発しない
- 午前11時までに解除された場合……バスが運行可能なら午後1時までに出発する。
 - ※ バスの運行の可否については、義務教育課が野外教育課に確認し、代表校長に伝える。
- 午前11時までに解除されない場合……延期する。
 - ※ 午前11時に発令されていても、まもなく解除になりそうな場合は、出発することもある。
 - ※ 午前11時に発令されていなくても、まもなく発令されそうな場合、延期することもある。

- ◎ 延期を決定した場合は、次の手順で日程調整・決定をする。
- ① 代表校長は、他の参加校の延期希望日も含め、まとめて義務教育課に伝える。これ以降の調整は、義務教育課と各学校がそれぞれ行う。
- ② 義務教育課は、給食提供とバスの配車が可能かどうかを野外教育課に確認し、各学校と調整した結果を代表校長に連絡する。

《入所中》

- ◎ 暴風警報、避難指示・緊急安全確保、特別警報が発令された場合は、野外教育センター内に留まり、各学校長は野外教育センターと情報交換を行う。

《退所前日》

- ◎ 午後4時30分頃に代表校長は、野外教育センター等から気象情報・道路情報等の情報収集をして、退所について義務教育課と相談し、方向性を検討しておく。

《退所日》

- ◎ 午前6時までに、代表校長は、義務教育課と協議し、「退所」「待機」「延泊」等の対応を決定する。
- ※ 台風の場合は、進路予報を基に、退所日を待たずに「待機」「延期」を決定する場合もある。

【退所日における暴風警報、避難指示・緊急安全確保、特別警報にかかる判断基準】

- 退所予定時刻に名古屋市・野外教育センター所在地のどちらかに発令されている場合……出発しない
- 退所予定時刻以降に解除された場合……バスが運行可能な時点で出発する。
 - ※ バスの運行の可否については、義務教育課が野外教育課に確認し、代表校長に伝える。

- ◎ 延泊した分の食費は、参加費に追加して徴収する。稲武野外教育センターにおいては、延泊となった場合に、非常食で対応することがある。その場合、追加徴収は無い。

2 バスの故障・交通事故等の発生に伴う対応

- ◎ 当該校学校長は、次の関係機関に連絡する。①義務教育課 ②野外教育センター
- ◎ 義務教育課は野外教育課に連絡・調整し、配車を確認する。

3 感染症等による学年・学級閉鎖に伴う対応

- ◎ 当該校学校長は実施予定日に関わるような当該学年または学級閉鎖の可能性が出てきた時点で、義務教育課と代表校長に連絡する。
- ◎ 延期の日程調整・決定は、当該校学校長と義務教育課で行う。
- ◎ 義務教育課は、野外教育課に連絡する。

4 暑さ指数(WBGT)実測値が31℃以上(危険)の場合の対応

- ◎ 「熱中症警戒アラート」「熱中症特別警戒アラート」の情報を基に、各学校が活動場所の暑さ指数を測定し、測定値と運動量、休憩場所(日陰)の有無等を把握した上で、入所校同士で相談して対応を決定する。
※ 測定器は野外教育センターのものを使用する。

【WBGTが31℃以上の場合の活動「中止」「暑さ対策をして実施」の判断基準】

- 以下の活動が「運動」に類すると判断し、「中止」も含めて検討する。
中津川・・・ハイキング、フィールドアスレチック、ミニモトクロス、グランドゴルフ
稲 武・・・ハイキング
 - 上記以外は「運動」に類しないと判断し、日陰等で活動を行ったり、活動時間を短縮したりするなど、「暑さ対策をして実施」とする。
- ◎ 代表校長は、決定した対応について、野外教育センターに報告する。

5 野外教育センターの所在地において震度5以上の地震が発生した場合の対応

- ◎ 出発前の学校は、出発しない。
- ◎ 出発後に発生した場合は、情報を集め、適切な措置を講ずる。(「学校へ帰校」が原則)
- ◎ 入所中の学校は、野外教育センター内に留まり、野外教育センターの指示に従う。
- ◎ 各学校長は、自校のとった措置を、「学校」「義務教育課」「保護者」に連絡する。
- ◎ 翌日以降、義務教育課から連絡があるまでの間は、野外教育活動を中止する。

6 南海トラフ地震臨時情報発表時の対応

《「注意」の場合》

- ◎ 出発前は代表校長が義務教育課に、入所中は代表校長が野外教育センターに、地震への対応策を確認し、他の参加校長に伝える。
- ◎ 各学校長は、地震の発生に注意しながら、野外教育活動を実施する。

《「警戒」の場合》

- ◎ 出発前の学校は出発しない。
- ◎ 入所中は、即時に活動を中止し、野外教育センターの指示で巨大地震に備える。その後の対応については、代表校長は義務教育課とも適宜連絡を取りながら進める。
- ◎ 入退所のためバスに乗車中は、道路状況等バス通行に係る安全確認をした上で速やかに帰校する。

7 北朝鮮によるミサイル発射に係る全国瞬時警報システム(Jアラート)が発令に伴う対応

★ 代表校長、入所・退所等の対応について他の参加校長に連絡する。

(1) 愛知県・岐阜県に「ミサイル発射情報・避難の呼びかけ」が出された場合
《入所日》

◎ 代表校長は、判断基準を基に、実施・延期について義務教育課と協議・決定する。

【入所日におけるJアラート発令に係る判断基準】	
● 午前6時に発令されている場合	「続報」により安全確認ができるまで待機する。
● 午前6時以降に発令され、出発時に発令されている場合	出発しない。
● 午前11時までに「続報」により安全確認ができた場合	バスが運行可能なら午後1時までに出発する。
● 午前11時までに「続報」により安全確認ができない場合	「延期」する。
● 午前11時までに解除されない場合	延期する。

◎ 延期になった場合の日程調整・決定は「1台風・集中豪雨等」と同様に扱う。

《移動中》

◎ バスの乗務員の指示に従って、近くの建物やバス内等で安全確保をする。

◎ 「続報」によって安全が確認できたら、移動を開始する。

《入所中》

◎ 各校長は野外教育センターと情報交換を行い、野外教育センターの屋内で安全確保をする。

《退所日》

◎ 代表校長は《入所日》と同様に、対応について義務教育課と検討・決定する。

※ 状況によっては、昼食時刻や退所時刻を可能な範囲で早めることもある。

【退所日におけるJアラート発令に係る判断基準】	
● 退所予定時刻に発令されている場合	出発しない。
● 退所予定時刻以降に「続報」により安全確認ができた場合	バスが手配できた時点で出発する。

(2) 「ミサイル発射情報・避難の呼びかけ」に引き続き、「直ちに避難することの呼びかけ」「破壊情報」「落下推定情報(日本の領土・領海に落下)」が出された場合

◎ 入所中は、引き続き屋内に避難する必要があるため、安全が確認されるまで待機。

◎ 移動中は、引き続きバス乗務員の指示に従って、近くの建物やバス内等で安全確保。

(3) 「ミサイル発射情報・避難の呼びかけ」に引き続き、「通過情報・避難の呼びかけの解除」「落下推定情報(日本の領海外の海域に落下)」が出された場合

◎ 入所中は、屋内避難の必要がなくなるため、通常の活動を行う。

◎ 移動中は、目的地への移動を再開する。野外教育センターに向かっている場合、校長は野外教育センターに到着予定時刻等を伝える。

関係機関連絡先

名古屋市教育委員会教育支援部義務教育課	052-972-3232	IP:644-032
中津川野外教育センター	第1本館 0573-67-2101	IP:644-054
	第2本館 0573-67-2233	IP:644-164
稲武野外教育センター	第1本館 0565-82-2250	IP:644-161
	第2本館 0565-82-2112	IP:644-162
名古屋市教育スポーツ協会	野外教育課 052-614-5143	

名古屋市教育委員会教育支援部義務教育課
名古屋市小中学校校長会 野外教育委員会
名古屋市教育スポーツ協会 野外教育課

令和7年4月1日より変更

